

第34回 公益社団法人日本看護科学学会総会 議事録

日 時 : 平成26年(2014年)11月29日(土) 17:10~18:30

場 所 : 名古屋国際会議場1号館1階 センチュリーホール(第1会場)
名古屋市中区熱田西町1番1号 TEL:052-693-7711

出席者 : 3,260名 (会場出席者106名、委任状3,154名)

議 長 : 鎌倉 やよい

I. 開会

開始時の会場出席正会員67名(うち理事・監事13名)、有効委任状提出者3,154名、合計3,221名で、日本看護科学学会の定款第45条に定められた要件である全会員の10分の1の出席を満たしていることが確認され、公益社団法人日本看護科学学会第34回総会が開会された。

司会は御代田敬子(日本看護科学学会事務所長)、書記は大林陽子(愛知県立大学)、奥村ゆかり(日本赤十字広島看護大学)で行なわれた。

II. 理事長挨拶

田村やよい理事長より、以下の挨拶があった。

第34回日本看護科学学会学術集会の第1日は盛会に終わった。企画委員、実行委員、ボランティアを含む300名近くのスタッフと準備にあたっていただいた鎌倉会長に感謝を申し上げる。日本看護科学学会は創立34年目を迎え、看護系学会では長い歴史をもち、公益社団法人という役割の中で、看護の研究を通じて社会に益のある活動を提供する役割を担っている。現在14名の理事、2名の監事、202名の代議員で本会を運営している。本会は毎年400名から500名の会員が増えており、大きく成長、発展している学会である。特にこの3年間の取り組みの結果、一番の弱点であった財務基盤が強化され、安定した運営が実現してきている。また、若手の育成という重要課題も様々な取り組みが着実に進んでいる。この1年間の取り組みが少しずつ進んできていることをお伝えしたい。理事会、社員総会、各委員会の活動報告を行なう中で、会員の皆様から運営についての忌憚のないご意見をいただきたい。

III. 議長指名および議事録署名人の承認

定款第44条に従い、議長は第34回学術集会の鎌倉やよい会長が指名された。

また、議事録署名人には代議員の中尾久子氏(九州大学)、代議員の早川和生氏(大阪大学)の2名が選出された。

IV. 報告事項

議長より、本学会総会の報告内容は、11月28日にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で行なわれた「平成26年11月社員総会」における報告内容と同一であることが説明された。

1. 理事会報告および社員総会報告

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がなされた。

1) 理事会報告 (pp2-6)

平成25年度1月書面理事会(2014年1月8日)審議により、第33回学術集会における特別講演講師への謝金額について、「会計に関する申し合わせ」における規定の上限額を適用した。

平成25年度第6回理事会(2月11日)では、第33回学術集会(JANS33)の最終報告、第34回学術集会(JANS34)の準備状況報告、第3回JANSセミナー(1月25日)の実施報告が行なわれた。

平成25年度3月書面理事会(3月10日)では、JJNS若手研究者支援事業(英文校閲費助成)について

承認された。

平成26年度第1回理事会(5月18日)では、6月定例社員総会に向けた検討を行なった。新名誉会員の推薦を従来は秋に行ない12月の学会総会で紹介してきたが、3月に退会や異動が多いため、6月定例社員総会での承認に変更し、この回で新名誉会員の推薦をした。選挙に関する各種規程の変更案が承認され、選挙管理委員の委嘱が行なわれた。平成25年度決算の承認に向けて内容を検討し、正会員の会費配分率の規程変更案について審議した。

第2回理事会(6月29日)では、内閣府による立ち入り検査にて公益社団法人として運営が適正であるとの評価を受けたことが報告された。社員総会資料について、代議員選出規程の変更に伴い、地域区分を一部変更することが審議された。

第3回理事会(9月7日)では、第4回JANSセミナー(6月29日)について報告された。

第4回理事会(10月13日)では、第37回学術集会会長が承認された。また、JANS若手アカデミーを常置委員会として、「若手研究推進委員会」を立ち上げることが承認された。

第5回理事会(11月28日)では、11月社員総会、第34回学会総会についての最終確認をした。

2) 社員総会報告 (pp7-8)

平成26年6月定例社員総会(2014年6月29日)では、学会組織の強化・発展のため将来構想に基づく新たな事業計画としての若手研究者育成のための新規事業、学術振興事業について報告された。審議事項として平成25年度決算の承認、および会計監査の報告がされた。定款施行細則変更案(会費配分率の変更案)が審議され、「公益目的事業会計:法人会計=3(以上):7(以内)」という配分について承認された。また、新名誉会員について承認された。

11月社員総会(11月28日)では、各委員会の活動報告が行なわれ、審議事項として平成27年度事業計画案および平成27年度予算案、第37回学術集会会長について承認された。

2. 総務報告 (p1、pp9-10)

資料に基づき、総務担当の高橋理事より以下の報告がなされた。

役員・社員一覧は就任時の所属地区となっており、理事長の説明にあった代議員選出規程変更による区分とは異なっている。

平成25年4月1日現在の正会員数6,713名に対し、平成26年4月1日現在で正会員数7,184名となった。10月31日現在の正会員数8,013名、名誉会員13名、賛助会員5件で会員総数は8,031名となる。地区別正会員数は10ページの表の通りで、新しい地区として、関東A・B、東京A・B、近畿A・Bを設けた。正会員数の推移は昨年度より約500名増加し、順調に増えている。

3. 選挙管理委員会報告 (p11)

資料に基づき、高橋理事より以下の報告がなされた。

平成26年度から平成27年度にかけて行なわれる代議員選挙、役員候補者選挙にあたり、高木廣文委員長以下、5名の選挙管理委員が委嘱された。

4. 委員会活動報告 (pp14-21)

資料に基づき、会場スクリーンにパワーポイント資料を映写しながら、総務担当の高橋理事より以下の報告がされた。

1) 総務委員会

会員管理はオンラインシステム、会員自身のマイページの利用ともに順調に稼働している。会員への迅速な情報伝達およびWeb選挙対応として、会員へのメール配信も活用されている。現在のメールアドレス

登録状況は7,612件で、約200件はメール到着が不確定のため追跡調査中である。

2) 和文誌編集委員会

和文誌は今年からオンラインジャーナルのみとなり、2015年4月以降はオープンアクセスとなる。なお年度内に合本版を発行予定で、これが冊子体の最終号として配布される。論文種別を変更し、投稿規程を改正した。その結果、投稿数が順調に増加している。また、専任査読者の質向上を目的としたセミナーおよび交流集会を開催した。学会HPの「和文誌投稿論文Q&A」を更新した。

3) 英文誌編集委員会

Holzemer編集長来日のもと委員会を開催し、JJNS Vol.10No.2、を2013年12月に発刊し、会員に配付した。Vol.11からはオンラインジャーナルのみとなり、年間でNo.1からNo.4まで発刊する。2013年10月5日に啓発活動としてのセミナーを実施した。また、若手研究者支援事業を継続する。2013年度のimpact factorは0.488であった。

4) 研究・学術情報委員会

第4回JANSセミナー「看護論文の質向上のためのPeer Review Work」を企画・実施した。また、「若手看護系研究者調査」をもとに論文を投稿した。来年の3月開催で第5回JANSセミナーを企画中で、テーマはmixed methodであるが、今回から新たにWeb受講を計画中である。また、JANS若手アカデミーは「若手研究推進委員会」として新たにスタートする。

5) 国際活動推進委員会

異文化看護データベースの見直し、看護学のグローバルスタンダードに関する討議が行なわれた。世界看護科学学会(WANS)について、国際活動推進委員会が事務局を担当している。WANS学術集会は2015年10月14日から17日に、ドイツのHannoverで開催予定である。WANSのHPについて内容を整理した。

6) 看護学学術用語検討委員会

継続的に学術用語の検討を進めるために必要な学術用語維持・管理システムの構築を目指した組織案づくり、また、その機能を確認する作業のためのモデル作業を行なった。

7) 看護倫理検討委員会

利益相反についての検討を進め、指針案と細則案を作成した。また、看護系大学および病院看護部の研究倫理審査委員会で扱う研究計画の種類と審査基準、および審査体制について、国内外の文献・資料の検討と専門家へのヒヤリングを実施し、分析と検討をした。第34回学術集会において、若手研究者のための研究倫理に関する交流集会を企画した。

8) 社会貢献委員会

第34回学術集会の企画である市民フォーラム「“口から食べる”を支える技術—食べる幸せを繋ぐ看護のわざー」、および高校生を対象としたナースィング・サイエンス・カフェ「命を救う！食を助ける！看護師たち」を開催する。

9) 表彰論文選考委員会

表彰論文選考方針・選考基準・選考手順を決定の上、優秀賞候補4件、奨励賞候補4件に絞り込み、代

議員による選考結果を集計し、優秀賞論文2編、奨励賞論文2編を決定した。

10) 広報委員会

前年度に学術集会広報との連携手順、業務マニュアルを作成し、活動の効率化が順調に進んでいる。今回の学術集会でもプレスリリースなどを行なっている。また、社会貢献委員会との連携も進めている。

11) 研究倫理審査委員会

審議すべき事案がなかったため、委員会の開催はなかった。

12) 災害看護支援事業専門委員会

平成25年度災害看護支援金による助成事業は、20件の応募から8件が採択され、助成総額は471万円であった。事業名は資料のとおりである。また、お手元のチラシにあるように、今年も災害看護支援事業の募金活動を行なっているため、募金へのご協力をお願いしたい。

13) 学術振興事業検討委員会

若手研究推進委員会が正式に立ち上がり、活動の継続と日本学術会議若手アカデミーへの参加を目指していく。

14) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

平成26年度総会にて、一般社団法人化の承認が得られた。また、今回の学術集会でもシンポジウムを開催予定で、例年どおり、共催団体として支援する。

② 看護系学会等社会保険連合

平成26年度診療報酬改定における要望書等の成果があった。

③ 日本学術会議

お手元の資料のとおりである。

④ その他の機関

お手元の資料のとおりである。

15) 選挙管理委員会

代議員選挙を電子投票にて行なう。平成26年9月8日公示、10月10日選挙人名簿にかかわる異動届の受付期限、11月下旬に投票要領等発送となる。投票受付は平成27年1月13日から27日で、1月29日に開票される。代議員選出後、役員候補者選挙が電子投票で行なわれ、平成27年3月2日公示、3月16日から29日で投票受付、3月30日開票予定である。

5. 平成25年度決算報告 (pp22-35)

資料に基づき、会計担当の和住理事より数値の読み上げおよび以下の説明がされた。

平成25年度決算については本年6月の定例社員総会で承認されたものである。貸借対照表(p22)の「資産の部」で、「2.特定資産、災害支援準備資金」が前年度は0円で、当年度は3,500,000円とある。これは平成25年度決算で大幅な黒字となり、その取扱いを理事会で検討した結果、災害看護支援事業に充てることにしたためである。「負債の部」では、未払い法人税等が70,000円となっているが、今年度は先ほど述べた災害支援準備資金の調整により、例年どおりの金額となった。「正味財産の部」で、基金に変動はなく72,926,624円である。正味財産合計は85,735,757円である。

貸借対照表内訳表(p23)は、貸借対照表を公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分けた表であるため、説明を省略する。

正味財産増減計算書(pp24-25)の、「一般正味財産増減の部、経常収益」の受取会費および学術集会収益は前年度に比べて増加した。税引前当期一般正味財産増減額が20,845,850円と前年度から大幅増額となり、災害支援準備資金として3,500,000円を充て、法人税、住民税及び事業税は前年度と同じ70,000円という会計処理をした。当期一般正味財産増減額は20,775,850円の増加、当期指定正味財産増減額は619,706円の減少、基金の増減はないため、正味財産期末残高は85,735,757円となり、前年度から大幅に増額した。

正味財産増減計算書内訳表(pp26-27)は、内閣府提出用の書式で、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の3つの欄に分けている。「経常増減の部、経常収益計、受取会費」の正会員受取会費を平成25年度から公益目的事業会計に4割、法人会計に6割を配分することとしたため、決算ではそれぞれ30,460,000円と45,690,000円になった。公益目的事業会計の当期経常増減額は7,845,560円の赤字であるが、収益事業等会計の広告販売事業の当期経常増減額が12,139,292円と大幅黒字であるため、災害支援準備資金として3,500,000円を充当することで、収益のうち11,325,941円を公益目的事業に振り替えることができた。正味財産期末残高は85,735,757円となった。

財務諸表に対する注記(pp28-29)について、当法人は公益法人会計基準を採用している。特定資産の増減額及びその残高に災害支援準備資金3,500,000円が入っている。また、特定資産の財源等の内訳として、災害支援準備資金3,500,000円を一般正味財産からの充当額としている。

財産目録(pp30-31)は各自でお目通しいただきたい。

平成25年度収支計算書(pp32-34)は、決算内容を記載方法を変えて書き起こしたものである。

災害看護支援事業収支報告書(pp35)では収入と支出の内訳を記載している。

6. 平成27年度事業計画の報告 (p36)

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がなされた。

平成27年度事業計画について、第35回学術集会の開催、第36回・第37回学術集会の準備、和文誌と英文誌の電子ジャーナルでの発行、看護学学術振興対策として、看護学学術用語の検討、世界看護科学学会を含む国際活動の推進、看護倫理の検討と啓発、研究成果の蓄積と活用を進めることとした。特に、学術活動の利益相反に関する指針および細則の施行について、学会HPを通じて会員からの意見を聞き、検討の上、施行していきたい。平成27年度はトライアル期間とし、完全施行は平成28年度以降を予定している。また、学術研究論文の表彰を行なう。次に、学会組織の強化・発展として、若手研究推進委員会の活動推進、JANSセミナーとJJNSセミナーを実施する。さらに、社会貢献活動、広報活動の強化、日本看護系学会協議会との共同事業としての災害看護支援事業を行なう。このための募金活動も実施する。また、他機関との連携活動を行なう。

7. 平成27年度予算の報告 (pp37-41)

資料に基づき、会計担当の和住理事より数値の読み上げおよび以下の報告がされた。

資料の39ページについて、次期繰越収支差額55,606,269円を「55,606,270円」に訂正する。

「事業活動収支の部」の事業活動収入のうち、学会誌収入についてはオープンアクセス化により大幅に減収する見込みである。事業活動支出のうち学会誌発行費支出は電子ジャーナル化により前年度より減少している。編集活動費支出のうち英文誌編集委員会費支出には若手支援事業が含まれている。国際活動推進委員会支出は世界看護科学学会開催支援のため前年度より増えている。また、学術振興事業検討委員会は2年間の時限的委員会であり、今年度で会務を終了するため平成27年度予算はなく、新設の若手研究推進委員会には500,000円の予算をつけている。支出合計127,127,020円となり、事業活動収支差額は

3,945,580円の黒字となる予定である。

「投資活動収支の部」は、資金の内部移動であり、積立金等を取り崩し事業活動に充てるものを投資活動収入として、また、事業活動資金から目的のために積立金等に振り替えたものを投資活動支出として示している。財務活動は行なっていないので収入は0円である。予備費支出3,000,000円を計上している。当期収支差額は539,420円のマイナスとなるが、ここに前期繰越収支差額を入れて、次期繰越収支差額は55,606,270円を見込んでいる。

平成27年度収支予算書(pp40-41)は、内閣府に提出するもので公益目的事業、収益事業等、法人会計に分けて示している。「正会員受取会費」の配分比率を平成25年度、26年度は「公益目的事業:法人会計＝4:6」で行なってきたが、平成27年度は「公益目的事業:法人会計＝3:7」で予算を組んでいる。これにより、収益事業で得た収益を公益目的事業の活動資金に振り替えることができ、平成27年度の税額も70,000円となる。以上により、当期一般正味財産増減額は4,289,042円増となる予定である。

8. 名誉会員について (p42)

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がなされた。

6月定例社員総会において、名誉会員についての定款上の規定、名誉会員推薦についての申し合わせ事項に基づき、中西睦子氏が名誉会員として承認された。7月に中西氏に名誉会員証を授与し、たいへん喜んでお受け取りいただいた。

9. 第37回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告 (p43)

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がなされた。

平成29年度(2017年)開催の第37回学術集会(JANS37)会長として、吉沢豊予子氏(東北大学大学院)が選任された。

10. その他

会員からの報告や意見は特になかった。

V. 表彰

表彰論文選考委員長の宮崎理事により、学術論文優秀賞2件の受賞者名、学術論文奨励賞2件の受賞者名が読み上げられ、田村理事長より筆頭著者4名(うち1名欠席)に、賞状と副賞が授与された。対象論文は以下となる。(敬称略)

〔優秀賞〕

中村幸代(筆頭著者)、堀内成子、柳井晴夫

論文名 : 妊婦の冷え症と微弱陣痛・遷延分娩との因果効果の推定—傾向スコアによる交絡因子の調整
(日本看護科学学会誌, 33(4), 3-12, 2013.)

〔優秀賞〕

Kiyomi ASAHARA(筆頭著者)、Wakanako ONO、Maasa KOBAYASHI、Junko OMORI、
Yumiko MOMOSE、Hiromi TODOME、Emiko KONISHI

論文名 : Ethical issues in practice : A survey of home-visiting nurses in Japan.
(Japan Journal of Nursing Science, 10(1), 98-108, 2013.)

〔奨励賞〕

平野優子(筆頭著者)、山崎喜比古

論文名 : 侵襲的人工呼吸器を装着した筋委縮性側索硬化症患者の病い経験—ライフ・ライン・メソッドを

用いた心理的状态のたどる過程と関連要因—

(日本看護科学会誌, 33(2), 29-39, 2013.)

〔奨励賞〕

Yoshino WATANABE, Makoto OE, Yukie TAKEMURA, Minako SASAKI, Mami ONISHI,
Katsuya KANDA, Hiromi SANADA

論文名 : Four factor Research Awareness Scale for Nurses in Japanese : Instrumental
development study

(Japan Journal of Nursing Science, 10(2), 232-241, 2013.)

VI. 第35回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶

第35回学術集会(JANS35)会長である日本赤十字広島看護大学の小山眞理子氏より、会場スクリーンに
パワーポイント資料を映写しながら、以下の挨拶と説明があった。

第35回日本看護科学学会学術集会が学会の歴史上初めて、中国地方で行なわれる。広島は毛利元就の
地であり、3人の息子たちに残した“3本の矢の教訓”を意識し、第35回学術集会としての“3本の矢”を立て、テ
ーマを「先見・叡智・創生」とした。2025年問題や少子高齢化社会に向かって様々な課題が生まれているが、
看護職は何ができるのか、先を見越しながら、今までの叡智を大切に使い、新しいものを創るというメッセージ
である。サブタイトルを「時代を拓く看護」とした。

広島には原爆ドームと宮島という2つの世界遺産があり、原爆が投下されてから70年になる。原爆を看護の
視点で考えるテーマなど、広島ならではの情報を発信するので、平和へのメッセージを身体で感じていただき
たい。

第35回学術集会は2015年12月5日(土)から6日(日)の日程で、広島国際会議場をメイン会場とし、そこか
ら徒歩7分圏内にあるアステールプラザ、広島市文化交流会館の2会場を加え、全3会場で運営できるよう準
備している。様々な情報をホームページから発信する予定であり、多くの演題を出して、ぜひ多くの皆
様にご参加いただきたい。また、広島の名所、名物もぜひ堪能してほしい。

VII. 閉会

司会の御代田事務所長より、最終的な会場出席者106名、委任状提出者3,154名、合計3,260名であるこ
とが報告され、閉会となった。

この議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人により以上の議事を認め、記名押印
する。

平成27年(2015年)1月20日

議 長 鎌 倉 やよい ㊟

議事録署名人 中 尾 久 子 ㊟

議事録署名人 早 川 和 生 ㊟

第34回 公益社団法人 日本看護科学学会総会

日 時 平成26(2014)年11月29日(土) 17:10~18:40
場 所 名古屋国際会議場1号館1階 センチュリーホール(第1会場)
名古屋市熱田区熱田西町1番1号 TEL:052-693-7711

【議事次第】

- I. 開会
- II. 理事長挨拶
- III. 議長指名および議事録署名人の承認
- IV. 報告事項
 1. 理事会報告および社員総会報告
 2. 総務報告
 3. 選挙管理委員の委嘱
 4. 委員会活動報告
 - 1) 総務委員会
 - 2) 和文誌編集委員会
 - 3) 英文誌編集委員会
 - 4) 研究・学術情報委員会
 - 5) 国際活動推進委員会(世界看護科学学会を含む)
 - 6) 看護学学術用語検討委員会
 - 7) 看護倫理検討委員会
 - 8) 社会貢献委員会
 - 9) 表彰論文選考委員会
 - 10) 広報委員会
 - 11) 研究倫理審査委員会
 - 12) 災害看護支援事業専門委員会
 - 13) 学術振興事業検討委員会
 - 14) 他機関との連携活動
 - ① 日本看護系学会協議会
 - ② 看護系学会等社会保険連合
 - ③ 日本学術会議
 - ④ その他の機関
 - 15) 選挙管理委員会
 5. 平成25年度決算報告
 6. 平成27年度事業計画の報告
 7. 平成27年度予算の報告
 8. 名誉会員について
 9. 第37回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告
 10. その他
- V. 表彰
- VI. 第35回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶
- VII. 閉 会

公益社団法人日本看護科学学会 役員・社員

(平成 26 年 11 月 1 日現在)

理 事 長 田村 やよひ

副理事長 安酸 史子

第 34 回学術集会会長

鎌倉 やよい

第 35 回学術集会会長

小山 真理子

第 36 回学術集会会長

岡谷 恵子

理 事：麻原きよみ、萱間 真美、グレッグ美鈴、小板橋喜久代、酒井 郁子、高橋 眞理、
武田 祐子、中山 洋子、宮崎 美砂子、山本 あい子、吉沢豊予子、和住 淑子

監 事：小島 操子、近藤 潤子

名誉会員：飯田澄美子、稲岡 文昭、氏家 幸子、薄井 坦子、兼松百合子、小玉香津子、中島紀恵子、
中西 睦子、林 滋子、樋口 康子、日野原重明、松野かほる、山崎 智子

賛助会員：(株)医学書院、(株)南江堂、(株)日本看護協会出版会、ヌーヴェルヒロカワ、(株)へるす出版

(以上、五十音順)

社員

【北海道】

稲葉 佳江
岡田 洋子
奥宮 暁子
近藤 潤子
中村 恵子
野川 道子
平 典子
三国 久美
山田 律子
良村 貞子

【東北】

安藤 広子
石井 範子
角濱 春美
叶谷 由佳
上泉 和子
桑名 佳代子
小林 淳子
佐藤 富美子
塩飽 仁
徳永 恵子
中村 由美子
布施 淳子
吉沢 豊予子
リボウィッツよし子

【北関東】

安梅 勅江
牛久保美津子
大塚 眞理子
岡 美智代
川口 孝泰
小板橋喜久代
佐伯 由香
高橋 照子
田村 やよひ

永井 優子

成田 伸

縄 秀志

二渡 玉江

松田 たみ子

水野 道代

森 千鶴

【南関東】

青木 きよ子
石井 邦子
石垣 和子
大島 弓子
大室 律子
岡田 忍
黒田 久美子
近藤 まゆみ
酒井 郁子
佐藤 紀子
佐藤 まゆみ
諏訪 さゆり
高橋 眞理
谷本 真理子
中村 伸枝
野地 有子
三上 れつ
宮崎 美砂子

森 明子

山田 雅子

山本 利江

和住 淑子

【東京】

秋山 正子
麻原 きよみ
有森 直子
井部 俊子
江本 リナ

及川 郁子

数間 恵子

金井 PAK 雅子

萱間 真美

河口 てる子

川村 佐和子

小松 浩子

坂本 すが

佐藤 エキ子

志自岐 康子

高木 廣文

武井 麻子

田代 順子

田中 美恵子

筒井 真優美

水流 聡子

鶴田 恵子

野末 聖香

濱口 恵子

菱沼 典子

福井 トシ子

操 華子

宮本 真巳

山本 則子

【甲信越】

阿保 順子

内田 雅代

小林 康江

清水 嘉子

征矢野あや子

中込 さと子

堀内 ふき

渡辺 タミ子

渡辺 みどり

【北陸】

稲垣 美智子

上野 栄一

川島 和代

北岡 和代

紺家 千津子

西村 真実子

【東海】

明石 恵子

浅野 みどり

安藤 詳子

市江 和子

大津 廣子

大西 和子

片岡 純

勝原 裕美子

鎌倉 やよい

紙屋 克子

小島 操子

小西 美智子

小松 万喜子

奈良間 美保

野口 眞弓

藤井 徹也

藤本 栄子

村本 淳子

百瀬 由美子

渡邊 順子

【近畿】

青山 ヒフミ

荒尾 晴恵

井上 智子

上野 昌江

岡谷 恵子

片田 範子

勝田 仁美

金川 克子

我部山キヨ子

北村 愛子

グレッグ美鈴

黒江 ゆり子

坂下 玲子

末原 紀美代

鈴木 志津枝

高田 早苗

高見沢恵美子

田中 京子

玉木 敦子

田村 恵子

近澤 範子

西村 ユミ

二宮 啓子

任 和子

野並 葉子

早川 和生

林 千冬

林 優子

前原 澄子

牧本 清子

町浦 美智子

山本 あい子

【中国・四国】

畦地 博子

池添 志乃

猪下 光

植田 喜久子

小笠原 知枝

小野 ミツ

國方 弘子

久保田 聡美

新道 幸恵

關戸 啓子

多田 敏子

田中 マキ子

津島 ひろ江

時長 美希

長戸 和子

中野 綾美

野嶋 佐由美

深井 喜代子

宮腰 由紀子

森下 利子

森下 安子

山勢 博彰

山田 覚

【九州・沖縄】

石原 逸子

井上 範江

宇座 美代子

浦田 秀子

奥 祥子

小田 正枝

嘉手苅 英子

川本 利恵子

北原 悦子

金城 祥教

草間 朋子

斉藤 ひさ子

田中 美智子

中尾 久子

鳩野 洋子

東 サトエ

森田 敏子

安酸 史子

矢野 正子

山勢 善江

李 節子

以上、202 名
地区別・五十音順

公益社団法人日本看護科学学会 理事会報告

(平成 25 年 12 月 7 日～平成 26 年 11 月 28 日)

平成 25 年度 1 月書面理事会

日 時：平成 26(2014)年 1 月 8 日(水)

(理事会の決議があつたものとみなされた日：平成 26 年 1 月 16 日)

出席者：理事 14 名

〈議案〉

第 33 回学術集会 (JANS33) における特別講演講師 (料亭 菊乃井主人：村田吉弘氏) への謝金額を『会計に関する申し合わせ』における規程の上限額 (20 万円) とすること

平成 25 年度第 6 回理事会

日 時：平成 26 年 2 月 11 日(火) 13:00 ～17:00

場 所：日本看護科学学会事務所 (東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室)

出席者：理事 14 名、監事 2 名、第 33 回学術集会会長、第 34 回学術集会会長、第 34 回学術集会事務統括

〈確認事項〉

平成 25 年度第 5 回理事会議事録

平成 25 年度 1 月書面理事会議事録

平成 25 年 12 月社員総会議事録

第 33 回学会総会議事録

〈報告および審議事項〉

1. 第 33 回日本看護科学学会学術集会 (JANS33) の最終報告
2. 第 34 回日本看護科学学会学術集会 (JANS34) の準備状況
3. 理事会からの報告
 - 1) JANS33 における特別講師への謝金について
 - 2) 学術集会開催に関する申し合わせ改正について
 - 3) JANS セミナー (1 月 25 日) の実施報告
 - 4) 平成 26 年度 理事会の日程調整
4. 各委員会における今年度予算執行状況
5. 各委員会における事業の進捗状況
 - 1) 総務委員会からの報告
 - 2) 和文誌編集委員会からの報告
 - 3) 英文誌編集委員会からの報告
 - 4) 研究・学術情報委員会からの報告
 - 5) 国際活動推進委員会からの報告
 - 6) 看護学学術用語検討委員会からの報告

- 7) 看護倫理検討委員会からの報告
- 8) 社会貢献委員会からの報告
- 9) 表彰論文選考委員会からの報告
- 10) 広報委員会からの報告
- 11) 研究倫理審査委員会からの報告
- 12) 災害看護支援事業専門委員会からの報告
- 13) 学術振興事業検討委員会からの報告
- 14) 他機関との連携について

- ・ 日本看護系学会協議会、日本学術会議、その他
- ・ 看護系学会等社会保険連合（看保連）
- ・ 世界看護科学学会

6. 入会希望者の承認

7. その他

〈連絡事項〉

委員会事業報告および経費支払伝票の提出について（平成 25 年 6 月定例社員総会の資料として）

平成 25 年度 3 月書面理事会

日 時：平成 26 年 3 月 10 日（月）

（理事会の決議があったものとみなされた日：平成 26 年 3 月 20 日）

出席者：理事 14 名

〈議案〉

JJNS の若手研究者支援事業（英文校閲費用助成）について、第 6 回理事会（2014 年 2 月 11 日）での報告事項から英文誌編集委員会の提案通り、内容を変更すること

平成 26 年度第 1 回理事会

日 時：平成 26 年 5 月 18 日（日） 13：00～17：30

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 11 名（Web 参加 1 名）、監事 2 名、第 34 回学術集会会長

〈確認事項〉

平成 25 年度第 6 回理事会議事録

平成 25 年度 3 月書面理事会議事録

〈報告および審議事項〉

1. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 35 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 平成 26 年 6 月定例社員総会について
 - 1) 平成 26 年社員総会資料、決算報告、監査報告の確認および承認

- 2) 役割分担シナリオの確認
4. 総務会からの提案および審議事項
 - 1) 新名誉会員の推薦について
 - 2) 代議員の辞任等による、次点者の繰り上げ就任について
 - 3) 選挙に関する各種規程変更案の承認
 - 4) 選挙管理委員の委嘱
 - 5) 平成 25 年度決算の事業活動収入について
 - ① 公益目的事業積立金計上のための規程案の承認
 - ② 会費配分率に関する規程変更案の承認
 - 6) 外部講師への謝金規程変更案の承認
 - 7) 退職金規程変更案の承認
5. 第 4 回 JANS セミナー（6 月 29 日）の準備状況
6. 各委員会における今年度予算執行状況
7. 各委員会における事業の進捗状況
8. 入会希望者の承認
9. その他

平成 26 年度第 2 回理事会

日 時：平成 26 年 6 月 29 日（日） 10：00～11：00

場 所：ベルサール神田（東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 3F）

出席者：理事 13 名、監事 1 名、

〈確認事項〉

平成 26 年度第 1 回理事会 議事録

〈報告および審議事項〉

1. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 内閣府による立ち入り検査（運営組織、事業活動）の報告
3. 社員総会資料と役割分担シナリオの最終確認
代議員選出規程の変更部分（議案書 VII. その他 で理事長より説明）
4. 各委員会における事業の進捗状況
5. 入会希望者の承認
6. その他

平成 26 年度第 3 回理事会

日 時：平成 26 年 9 月 7 日（日） 13：00～17：00

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 12 名、監事 1 名、第 34 回学術集会会長、第 35 回学術集会会長、選挙管理委員会委員長

〈確認事項〉

平成 26 年度第 2 回理事会議事録

平成 26 年 6 月定例社員総会議事録

〈報告および審議事項〉

1. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 35 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 37 回日本看護科学学会学術集会の候補者選出
4. 平成 26 年度代議員選挙および平成 27 年選出役員候補者選挙
5. 「代議員及び役員候補者選出に関する申し合わせ」変更案
6. 11 月社員総会の議事次第（案）
＊ 平成 26 年 11 月社員総会の開催について
（欠席者の議決権の行使方法について）
7. 第 34 回学会総会の議事次第（案）
8. 第 4 回 JANS セミナーの実施報告
9. 各委員会における今年度予算執行状況
10. 各委員会における事業の進捗状況
11. 入会希望者の承認
12. その他

〈連絡事項〉

1. 委員会活動報告および活動計画・予算案の提出について
2. 2014 年 11 月／学術集会開催時期の各会議について

平成 26 年度第 4 回理事会

日 時：平成 26 年 10 月 13 日（日） 13：00～17：00（予定）

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 14 名（Web 参加 2 名）、監事 1 名、第 34 回学術集会会長

〈確認事項〉

平成 26 年度第 3 回理事会議事録

〈報告および審議事項〉

1. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 35 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 37 回日本看護科学学会学術集会会長の承認

4. 「会計に関する申し合わせ」の変更案
5. 各委員会における平成 27 年度事業計画と平成 27 年度予算案
6. 11 月社員総会の議事次第（案）とシナリオ確認
7. 第 34 回学会総会の議事次第（案）とシナリオ確認
8. 各委員会における事業の進捗状況
9. 入会希望者の承認
10. その他

〈連絡事項〉

- JANS34 関連出張／出欠・宿泊希望の一覧

平成 26 年度第 5 回理事会

日 時：平成 26 年 11 月 28 日（金） 14：00～16：00

場 所：ANA クラウンプラザホテル グランコート名古屋 6 階 おしどり（名古屋市中区金山町 1-1-1）

出席者：理事 13 名、監事 2 名、第 34 回学術集会会長

〈確認事項〉

平成 26 年度第 4 回理事会議事録

〈報告および審議事項〉

1. 第 34 回学術集会会長からの報告
2. 定款施行細則の改正について（「若手研究推進委員会」の新設）
3. 平成 27 年度役員候補者選挙における理事候補者の「理事会が定める定数」について
4. 平成 26 年 11 月社員総会資料の最終確認
5. 社員総会／議事進行および役割分担の最終確認
6. 第 34 回学会総会資料の最終確認
7. 学会総会／議事進行および役割分担の最終確認
8. 各委員会における事業の進捗状況
9. 入会希望者の承認
10. その他

公益社団法人日本看護科学学会 社員総会報告

(平成 26 年 12 月 7 日～平成 26 年 11 月 28 日)

平成 26 年 6 月社員総会

日 時 平成 26 (2014) 年 6 月 29 日 (日) 11:30～14:00

場 所 ベルサール神田

東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 3F TEL:03-5281-3053

総社員数: 202 名

出席社員数: 156 名 (うち委任状 86 名)

I. 開会

II. 理事長挨拶

III. 第34回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

IV. 議長指名および議事録署名人の承認

V. 報告事項

1. 理事会および社員総会活動状況

2. 総務報告

3. 選挙管理委員会の委嘱

4. 平成25年度事業報告

(1) 第 33 回日本看護科学学会学術集会開催

(2) 第 34 回・第 35 回日本看護科学学会学術集会準備

(3) 和文誌の発行

(4) 英文誌の発行

(5) 看護学学術振興対策

① 看護学学術用語の検討

② 国際活動の推進 (世界看護科学学会を含む)

③ 看護倫理の検討と啓発

④ 研究成果の蓄積と活用

(6) 学術研究論文の表彰

(7) 学会組織の強化・発展

1) 将来構想に基づく新たな事業計画

・ 若手研究者育成のための新規事業

・ 学術振興事業検討委員会の設立

・ 学術振興事業の実施 (JANS セミナー等)

2) 財務基盤安定化に向けての取り組み

・ 学会誌の電子化準備

・ 選挙の電子化

・ 委員会等の遠隔会議システムの導入

・ 受取会費配分率の変更

(8) 社会貢献活動

(9) 広報活動

(10) 災害看護支援事業 (日本看護系学会協議会との共同事業による)

(11) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

② 看護系学会等社会保険連合

③ 日本学術会議

④ その他の機関

(12) 理事選挙

VI. 審議事項

1. 平成25年度決算の承認および会計監査の報告

2. 定款施行細則変更案 (会費配分率の変更案) の承認

3. 名誉会員の承認

VII. その他

VIII. 閉会

平成 26 年 11 月社員総会

日 時 平成 26 年 11 月 29 日（土）17：30～20：00

場 所 ANA クラウンプラザホテル グランコート名古屋 5 階 ローブルームⅡ
名古屋市中区金山町 1-1-1 TEL: 052-683-4111

I. 開会

II. 理事長挨拶

III. 第34回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

IV. 議長指名および議事録署名人の承認

V. 報告事項

1. 理事会報告および社員総会報告

2. 総務報告

3. 委員会活動報告

1) 総務委員会

2) 和文誌編集委員会

3) 英文誌編集委員会

4) 研究・学術情報委員会

5) 国際活動推進委員会（世界看護科学学会を含む）

6) 看護学学術用語検討委員会

7) 看護倫理検討委員会

8) 社会貢献委員会

9) 表彰論文選考委員会

10) 広報委員会

11) 研究倫理審査委員会

12) 災害看護支援事業専門委員会

13) 学術振興事業検討委員会

14) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

② 看護系学会等社会保険連合

③ 日本学術会議

④ その他の機関

15) 選挙管理委員会

VI. 審議事項

1. 平成27年度事業計画案の承認

2. 平成27年度予算案の承認

3. 第37回日本看護科学学会学術集会会長の承認

VII. 閉 会

総務報告

1. 会員推移

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 (平成 25 年度)

1) 正会員数増減

(1) 平成 25 年 4 月 1 日正会員数 6,713 名

(平成 25 年 3 月 31 日正会員数 7,037 名 - 平成 25 年度資格喪失者名 324 名=6,713 名)

自主退会 138 名+会費未納 186 名

(2) 平成 25 年度入会者 902 名 (新規入会 813 名 + 再入会 89 名=902 名)

(3) 平成 25 年度死亡喪失者 3 名

2) 賛助会員増減 なし

3) 名誉会員増減 2 名 (平成 25 年度承認 中島 紀恵子、小玉 香津子)

平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日

1) 正会員数増減

(1) 平成 26 年 4 月 1 日正会員数 7,184 名

(平成 25 年度 3 月 31 日正会員 7,612 名 - 平成 26 年度資格喪失者 428 名=7,184 名)

自主退会 178 名+会費未納 250 名

(2) 平成 26 年度の入会者 829 名 (新規入会 730 名 + 再入会 99 名=829 名)

(3) 平成 26 年度の死亡喪失者 なし

2) 賛助会員増減 なし

3) 名誉会員増減 1 名 (平成 26 年度承認 中西 睦子)

4) 平成 26 年 10 月 31 日現在 会員数

正会員 8,013

名誉会員 13

賛助会員 5

会員総数 8,031

名誉会員	山崎 智子 松野 かほる 氏家 幸子 兼松 百合子 林 滋子 飯田 澄美子 日野原 重明 稲岡 文昭 樋口 康子 薄井 坦子 中島 紀恵子 小玉 香津子 中西 睦子
賛助会員	(株) 医学書院 (株) へるす出版 (株) 南江堂 (株) 日本看護協会出版会 (有) ヌーヴェルヒロカワ

総務報告

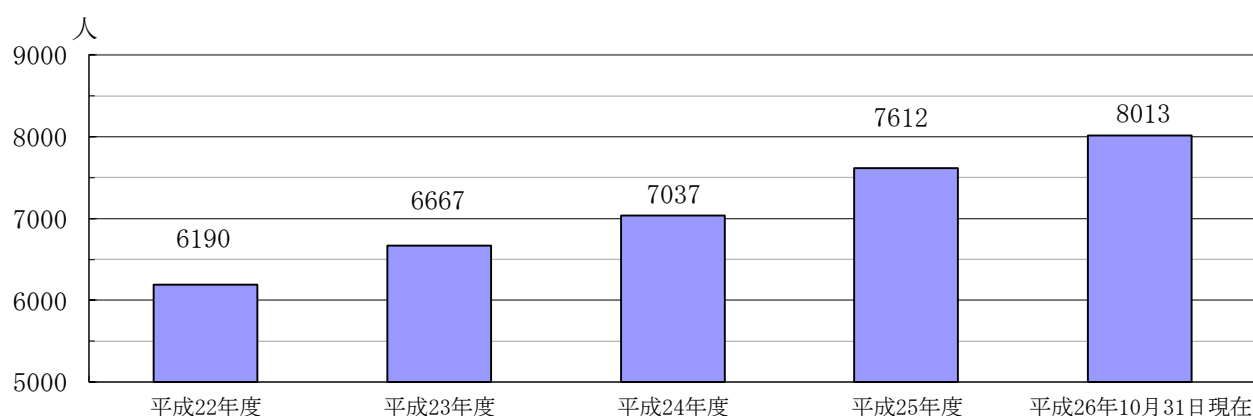
2. 地区別正会員数

地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数		
北海道 352	北海道	352	北陸	富山	49	九州・沖縄	福岡	400		
				石川	111		佐賀	46		
東北 479	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	129 44 140 61 63 42	212	福井	52		830	長崎	52	
				東海	静岡			159	熊本	74
					愛知			359	大分	56
					岐阜			149	宮崎	62
					三重			170	鹿児島	51
					近畿 A			大阪	490	沖縄
関東 A	茨城 栃木 群馬 埼玉	122 99 144 260	919	兵庫	429	宛先不明者		48		
				近畿 B	滋賀	109		合計		8,013
					京都	206				
					奈良	85				
関東 B	千葉	350	和歌山	31						
東京 A	神奈川	474	中国・四国	鳥取	33					
				島根	68					
東京 B	※1	589		岡山	169					
				広島	238					
				山口	59					
				徳島	62					
				香川	80					
				愛媛	71					
甲信越	新潟 長野 山梨	100 109 85		925	高知	145				

※1 千代田区、中央区、港区、台東区、文京区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区、品川区、大田区、島しょ、海外

※2 渋谷区、目黒区、世田谷区、新宿区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区、多摩地域圏

3. 正会員数の推移（年度別）



選挙管理委員の委嘱

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	高 木 廣 文	東邦大学
副委員長	野 口 眞 弓	日本赤十字豊田看護大学
書 記	二 宮 啓 子	神戸市看護大学
庶 務	岡 美 智 代	群馬大学
庶務補佐	桑 名 佳 代 子	宮城大学

公益社団法人日本看護科学学会 平成26年度委員会名簿および分掌事項

委員会	役職	氏 名	会 務 分 掌
総務	委員長	高 橋 眞 理 和 住 淑 子 藤 井 徹 也	・ 会員管理 ・ 入会審査 ・ 学会事務所の運営（総務会にて検討）
	委員		
和文誌編集	委員長	萱 間 真 美 吉 沢 豊 予 子 浅 野 み どり 和 泉 比 佐 子 牛 久 保 美 津 子 遠 藤 淑 美 大 久 保 暢 子 佐 伯 圭 一 郎 佐 伯 由 香 酒 井 明 子 佐 藤 紀 子 諏 訪 さ ゆ り 竹 崎 久 美 子 田 中 美 智 子 西 川 浩 昭 西 村 真 実 子 野 地 有 子 林 千 冬 眞 嶋 朋 子 三 木 明 子 宮 本 有 紀 山 崎 あ け み 吉 田 俊 子 小 野 智 美	・ 学会誌の完全オンライン化の実施と年1回の学会誌（冊子）発行（平成26年のみ） ・ 学会誌への投稿の促進 ・ 論文電子化に伴う著作権の整備（機関リポジトリへの対応） ・ 査読者の質向上を目的としたセミナー ・ 査読システムの改良 ・ 表彰論文選考への参画
	会 計		
英文誌編集	編集長 委員長	William L. Holzemer グレッグ美鈴 山本 あい子 安 部 陽 子 石 原 逸 子 和 泉 成 子 岡 田 彩 子 小 澤 三 枝 子 北 岡 和 代 佐々木美奈子 田 代 順 子 永 田 智 子 中 村 美 鈴 野 口 眞 弓 深 井 喜 代 子 法 橋 尚 宏 堀 内 成 子 前 田 ひ と み 眞 壁 玲 子 丸 山 昭 子 江 藤 宏 美	・ 英文誌（オンライン版）の出版（年4号） ・ 査読システムの整備 ・ 投稿論文促進のための広報活動 ・ インパクトファクター向上のための活動 ・ 和文誌編集委員会との協働 ・ 表彰論文選考への参画 ・ 若手研究者支援事業の推進 ・ 投稿規程の改正
	会 計		
研究・学術情報	委員長	吉 沢 豊 予 子 岡 谷 恵 子 柏 木 聖 代 河 野 あ ゆ み 高 見 沢 恵 美 子 奈 良 間 美 保 西 村 ユ ミ 深 堀 浩 樹 宮 下 光 令 跡 上 富 美	・ 内外の看護学研究に関する情報の収集、整理、発信 ・ 研究成果が診療報酬に適切に反映できるような活動の推進
	会 計		
国際活動推進	委員長	中 山 洋 子 近 藤 暁 子 近 藤 麻 理 清 水 安 子 田 代 順 子 南 裕 子 神 原 咲 子	・ 国際的な看護学研究機関とのネットワークの構築 ・ 世界看護科学学会事務局業務
	会 計		

委員会		役職	氏 名	会 務 分 掌
看護学 学術用語 検討	委員	委員長	小板橋喜久代 大森 純子 大島 弓子 柏木 公一 佐藤 和佳子 新田 なつ子 山 田 覚	・看護学学術用語に関する現状と展望の検討 ・看護学学術用語の維持管理システム構築に向けた検討
		会 計	石丸 美奈	
看護倫理 検討	委員	委員長	麻原 きよみ 安藤 広子 小野 美喜 小西 恵美子 百瀬 由美子 八尋 道子 三森 寧子	・看護学が関連する研究・教育・臨床における倫理的課題の整理および即時的対応 ・研究者のモラル向上に向けた活動 ・看護学が関連する倫理的社会事象に対する情報収集・提供と学会としての対応案の検討と社会に向けた見解の発信 ・研究倫理審査における異議申し立てに関する審議
		会 計		
社会 貢献	委員	委員長	武田 祐子 井上 智子 近藤 まゆみ 佐久間 清美 福田 紀子 宮下 美香 山村 美枝 藤屋 リカ	・一般市民に向けた活動 ・看護学を通じた社会への貢献およびその方策の検討・普及 ・学術集会開催時の他に社会貢献の実績を残す （市民公開講座、出版等） ・次世代の育成事業
		会 計		
表彰 論文選考	委員	委員長	宮崎 美砂子 萱間 真美 グレッグ美鈴 上野 昌江 大塚 真理子 神田 清子 谷本 真理子 本田 彰子	・和文誌・英文誌投稿論文からの表彰候補論文選考作業の円滑な運営 ・学会としての表彰論文の推薦 ・看護学への功績（学問の体系化等）のある人への表彰についての検討 ・他団体からの表彰に該当する候補者の推薦
		会 計		
広報	委員	委員長	酒井 郁子 清水 安子 林 直子 藤田 冬子 渡辺 かづみ 綿貫 成明 黒河内 仙奈	・ホームページ（JANS/WANS）の維持・管理・改善 ・学会活動の広報（委員会成果物のHP掲載等） ・学術集会の広報（プレスリリース等） ・WANS本部・WANS学術集会の広報 ・学術集会の記録
		会 計		
研究 倫理 審査	委員	委員長	田村 やよひ 勝原 裕美子 佐居 由美 掛江 直子 隈本 邦彦 岩野 正史	・学会員による人を対象とした看護研究が、倫理的配慮のもとに行われるかどうかを審査
		外部委員 外部委員 外部委員		
若手 研究 推進 委員会	委員	委員長	吉沢 豊予子 西村 ユミ 河野 あゆみ 綿貫 成明 濱吉 美穂 坂井 志織 岩國 亜紀子 大澤 絵里 鳥本 靖子	・学術会議若手アカデミー委員会のメンバーとなり、国内外の多学問分野の若手研究者と積極的な交流を図る。 ・学術集会の交流集会を定例的に企画・運営し、若手の研究活動の促進に努める。 ・若手研究者向けの研修に関するニーズ把握、及び学術情報や活動を周知する方法を検討する。
		会 計		
災害 事業 看護 専門 支援	委員	委員長	山本 あい子 武田 祐子 麻原 きよみ 田中 美恵子 佐々木 吉子 駒形 朋子	災害看護活動を支援するために以下の事項について協議及び審議を行う。 ・募金に関する事項 ・広報に関する事項 ・災害看護支援金の申請者等の選定の審査に関する事項 ・その他必要な事項
		会 計		
学術 検討 興事 業	委員	委員長	田村 やよひ 安酸 史子 吉沢 豊予子 太田 喜久子 西村 ユミ 古在 豊樹	・今後の40周年に向けて、公益社団法人としての学術振興の中・長期的活動方針を企画検討する。 ・公益社団法人としての社会貢献に向けた公益事業を検討する。 ・アンブレラ学会として看護学の発展への貢献活動を検討する。 （平成25年4月1日より活動開始。2年間の時限的委員会）
		外部委員		
選挙 管理	委員	委員長	高木 廣文 高野 口眞弓 二宮 啓子 岡 美智代 桑名 佳代子	・理事会からの委嘱により組織し、代議員および役員候補者選挙を行う。
		副委員長 書記 庶務 庶務補佐		

委員会活動報告

1) 総務委員会

- ・ 入会審査の理事会報告、及び会員のデータ管理を行っている。会員管理については、オンラインシステム、会員自身のマイページの利用（延べ2,031件・平成25年11月1日～平成26年9月4日現在）ともに順調に稼働している。
- ・ 会員への迅速な情報伝達、また選挙のWeb化の運用等、登録されている会員のメールアドレスによる配信も活用されている。なお、現メールアドレスの登録状況は7,612件であり、郵送による問い合わせを行ったところ、昨年度より200件が送信可能となった。約200件がメールの到着が不確定のため、引き続き追跡調査を行っている。
- ・ 会員数は、8,031名（平成26年10月31日現在）であり、昨年度末7,612名より順調に増加している。
- ・ 学会事務所職員の勤務内容の把握、調整、面談を適宜行い、事務所ミーティングを定例で行った。
- ・ 定例社員総会準備を行った。
- ・ 各理事会、社員総会の議事の記録を担当した。
- ・ 事務所運営の効率化・適正化を図るため、事務所業務内容の再検討を開始した。

2) 和文誌編集委員会

- ・ 和文誌編集委員会を3回（平成25年12月6日、平成26年3月13日、11月29日）開催した。
- ・ 電子ジャーナル化に向けて、会員に意向調査を行った。調査内容は、電子ジャーナルを随時論文単位で刊行した場合、別刷および冊子体（論文集）の必要性和価格についてであり、調査表の配布7,635部、回収496部で回収率は6.5%であった。結果は、オンライン化後も6割以上の回答者が別刷を希望し、10部単位の販売で、価格は50～100円としていた。冊子体の購入は6割以上が不要と回答し、購入の場合は2,000～5,000円の価格を9割以上の回答者が希望していた。
- ・ 電子ジャーナル化に向けての打ち合わせを3回（平成25年9月24日、12月13日、平成26年7月14日）行った。
- ・ オンライン論文の迅速な随時掲載のための作業を適宜行った。
- ・ 論文種別を変更し、それに伴う投稿規程の改正（平成26年7月1日施行）を行った。
- ・ 学会誌への投稿の促進を行い、投稿数が平成23年度56論文、24年63論文、25年74論文に増加した。
- ・ 専任査読者の質の向上を目的としたセミナー「看護論文の質向上のためのPeer Review Work」、交流集会

「研究者を育てる査読コメントの書き方 1-心に残る査読コメントの実例-」を開催した。

- ・ ホームページ「和文誌投稿論文 Q&A」を更新した。
- ・ 表彰論文選考に参画した。
- ・ 機関リポジトリへの掲載依頼に対応した。(1 件)

3) 英文誌編集委員会

- ・ Holzemer 編集長が来日のもと、対面式の編集委員会を 1 回、TV 会議システムを用いた日本語での編集委員会を 1 回開催した。
- ・ Japan Journal of Nursing Science Vol.10 No.2 (2013 年 12 月) を発刊し、7,640 名に頒布した。さらに Vol.11 No.1~3 (9 月末の時点) をオンラインで発刊した。
- ・ 2013 年 10 月 5 日に啓発活動としてのセミナー “Improving Your Success at Publishing in English in 2013”を開催した。参加者 183 名で、好評であった。
- ・ 若手研究者支援事業を開始し、2 編の助成対象論文を決定した。
- ・ 2013 年度の impact factor は、0.488 と若干低下した (2014 年 7 月発表による)。

4) 研究・学術情報委員会

- ・ 第 4 回 JANS セミナー「看護論文の質向上のための Peer Review Work」の企画を行った。
- ・ 「若手看護系研究者調査」を基に JJNS 英文誌に投稿し 1 本が受理された。また、JANS 和文誌にも投稿し、査読中である。
- ・ 第 5 回 JANS セミナー企画。

(JANS 若手アカデミー)

- ・ JANS 若手アカデミーのメーリングリストが活動開始した。
- ・ 第 34 回日本看護科学学会学術集会交流会の企画・打ち合わせを行った。
- ・ JANS 若手アカデミーの常置委員会化に向けて準備を行った。
- ・ 看護系学会等社会保険連合 (看保連) 関連委員会に出席した。

5) 国際活動推進委員会 （世界看護科学学会を含む）

- ・異文化データベースを見直して情報の更新や修正を行い、活用しやすいものになるよう検討している。
- ・看護学のグローバルスタンダードや国際看護学教育のあり方について討議をしている。その過程でJANSにおける交流集会や国内教員に対して調査を行い、国際看護・国際保健に係る教員のネットワークを構築する予定である。

（世界看護科学学会 World Academy of Nursing Science : WANS）

- ・国際活動推進委員会は、JANS から WANS 理事会の理事長（Chairperson, Board of Directors）を出しているために、WANS 事務局を担っている。平成 26 年度は、平成 27 年度 10 月にドイツ・Hannover で開催予定の第 4 回 WANS 学術集会（会長 Meyenburg-Altward, Iris）の事務局と連絡を取り、準備を支援している。また、会員拡大のために、日本、タイ、中国等の学会や関連団体と連絡を取っている。
- ・WANS のホームページの内容を整理し、Greeting や過去の学術会議のアーカイブを中心に更新した。

6) 看護学学術用語検討委員会

- ・看護学学術用語検討委員会を 3 回開催した。
- ・本学会として継続的に学術用語の検討を進めていくために必要な学術用語維持・管理システムの構築を目指して組織案づくりを進めた。
- ・組織案がスムーズに機能するかを確認する作業として、具体的な用語を取り上げて、モデル作業を行った。
- ・これまでの学術用語に関する成果物への問い合わせがあり（4 件）、それぞれ検討し、対応した。

7) 看護倫理検討委員会

- ・看護倫理検討委員会を 2 回開催した。
- ・利益相反について、和文誌投稿規程における記載について検討し、和文誌編集委員会に提案した。また、本会における利益相反の取り扱いについて検討した。
- ・看護系大学および病院看護部の研究倫理審査委員会で扱う研究計画の種類と審査基準、および審査体制について、国内外の文献・資料の検討と専門家へのヒヤリングを実施・分析し、検討した。
- ・学術集会において、若手研究者のための研究倫理に関する交流集会を企画・実施した。

8) 社会貢献委員会

- ・活動の継続性、充実を図るため、委員の交代に合わせ、委員を増員した。

- ・ 第34回学術集会における企画について、メールによる検討を重ね、平成26年度第1回社会貢献委員会（7月6日開催）では、具体的内容の確認、役割分担を検討した。
- ・ 第34回学術集会企画委員会に参加し、本委員会による企画に関する連携を図った。
- ・ 第34回学術集会では、市民フォーラムのテーマを「口から食べるを支える技術－食べる幸せを繋ぐ看護のわざー」とし、摂食嚥下サポートの専門家による講演を企画した。高校生を対象としたナーシング・サイエンス・カフェは、テーマを「命を救う！食を助ける！看護師たち」とし文部科学省の後援申請を行い、2名の認定看護師による「食べる楽しみを支える看護」「ドクターヘリ フライトナースの役割」のリレートークと、小人数グループによる、摂食・嚥下障害看護認定看護師、救急看護認定看護師、フライトナースとのカフェトークの準備を進めてきた。また、広報委員会と連携し、企画の広報に努めた。
- ・ 企画開催当日（11月30日）に開催予定の第2回委員会では、実施準備最終確認を行い、次年度に向けて、意見交換を行う予定である。

9) 表彰論文選考委員会

- ・ 表彰論文選考委員会を3回（8月、9月及び10月）開催した（8月及び9月はメール審議、10月は対面会議とWeb会議を併用して実施した）。
- ・ 第1回委員会（8月12日）にて表彰論文選考方針、選考基準、選考手順を決定した。
- ・ 第2回委員会（9月6日）にて優秀賞候補4論文（和文3論文、英文1論文）および奨励賞候補4論文（和文3論文、英文1論文）を絞り込み、審査リストを作成した。これらについて、平成26年9月10日に全代議員202名に文書及びメールにて採点を依頼した。
- ・ 10月3日までに返信された60通について評価点の集計を行った（回収率29.7%）。
- ・ 第3回委員会（10月6日）にて集計結果に基づき最終選考を行い、以下のように優秀賞2編、奨励賞2編を決定し、理事会（10月13日）に報告し、承認を得た。

【優秀賞】

- （原著論文）中村幸代，堀内成子，柳井晴夫（2013）：妊婦の冷え症と微弱陣痛・遷延分娩との因果効果の推定－傾向スコアによる交絡因子の調整－、日本看護科学会誌、33(4)、3～12.
- （original article）Kiyomi ASAHARA, Wakanako ONO, Maasa KOBAYASHI, Junko OMORI, Yumiko MOMOSE, Hiromi TODOME and Emiko KONISHI（2013）：Ethical issues in practice：A survey of home-visiting nurses in Japan, Japan Journal of Nursing Science, 10(1), 98～108.

【奨励賞】

- （研究報告）平野優子，山崎喜比古（2013）：侵襲的人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症患者の病い経験－ライフ・ライン・メソッドを用いた心理的状态のたどる過程と関連要因－、日本看護科学会誌、33(2)、29～39.
- （original article）Yoshino WATANABE, Makoto OE, Yukie TAKEMURA, Minako SASAKI, Mami ONISHI, Katsuya KANDA and Hiromi SANADA（2013）：Four factor Research Awareness Scale for Nurses in Japanese: Instrument development study, Japan Journal of Nursing Science, 10(2), 232～241.

10) 広報委員会

- ・ 広報委員会は必要に応じてメール等により活動した。3月に委員会開催予定である。前年度に連携手順、業務マニュアルを作成したことにより、活動の効率化が行われたため、委員会開催数を減少することができた。
- ・ 第34回学術集会企画委員会との連携による広報活動を行った。具体的にはプレスリリース（新聞社、ラジオ局、テレビ局）、記録などである。
- ・ 社会貢献委員会との連携による、市民フォーラムおよびナーシング・サイエンス・カフェ広報媒体を作成した。
- ・ 広報活動に関するマニュアルおよび手順書を整備した。
- ・ 学会HPの内容の更新、整理を行った。

11) 研究倫理審査委員会

- ・ 審議すべき事案が申請されなかったため、委員会は開催されなかった。

12) 災害看護支援事業専門委員会

- ・ 平成25年度災害看護支援金による助成事業の募集を行い、20件の応募（助成希望額の総額は12,132,932円）があった中から、平成25年度災害看護支援事業専門委員が看護支援事業規程第7条並びに応募要項の採択基準に基づいて厳正に審査を行った結果、平成26年度分として以下の8件を採択した。助成金の総額は、4,710,000円（最高1,000,000円、最低290,000円）であった。

代表者氏名	題目
塚本 都子	通所施設利用者と介護家族の地震に対する意識と対策の現状を踏まえた、施設が実現すべき当事者主体の地域共助力推進に関する統合的協働型検討会
佐々木久美子	宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動の充実強化
川嶋みどり	「在宅におけるケアの有用性を高める」ための人材育成の取り組み
尾山とし子	これから始まる復興と絆、コミュニティ再建のための長期支援 Part2 ～はまってけらいん（集まって）かだってけらいん（語って）を合言葉に～
内海奈緒子	東日本大震災被災地の仮設住宅地区における高齢住民に対する健康支援プログラムの長期的効果に関する介入研究
大野かおり	兵庫県立大学・宮城大学看護東北プロジェクト 気仙沼市鹿折地区仮設住宅住民のセルフケア行動推進および健康ハイリスク住民への看護支援方策の検討
青木 萩子	応急仮設住宅生活が長期化する福島原発事故避難者の健康支援事業
北宮 千秋	被災地の長期避難を伴う自治体職員への健康相談とリスクコミュニケーション

- ・ 平成 26 年 9 月末に事業の進捗状況について中間報告の提出を受け、事業が順調に実施されていることを確認した。
- ・ 本事業は日本看護系学会協議会（JANA）との共催で実施しているため、平成 25 年度助成事業の最終報告書、収支報告書及び平成 25 年度助成事業の中間報告書を JANA に提出した。
- ・ 【予定】第 34 回日本看護科学学会学術集会において交流集会を企画し、学会員への事業報告（H25 年度採択事業の中から 3 件）および本事業への認知度の更なる向上と、継続的な支援促進を目指す。

13) 学術振興事業検討委員会

- ・ 研究・学術情報委員会と連携して、JANS 若手アカデミーに参加を希望する若手研究者のメーリングリスト作成支援と情報交換を促進。
- ・ JANS 若手アカデミーの常置委員会化をすすめ、活動の継続性と日本学術会議若手アカデミーへの参加を促進することとしている。

14) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

- ・ 平成 26 年 6 月 30 日（月）、平成 26 年度総会が日本赤十字看護大学広尾キャンパスで開催され、理事長が出席した。総会において、一般社団法人化の承認が得られた。定款および定款施行細則、役員選出規程等の原案の説明があり、意見交換を行った。これらの意見をもとにさらに定款等を整備し、年内には再度総会が予定されている。
- ・ 第 34 回日本看護科学学会学術集会の折、シンポジウムを開催予定である。本会は例年通り、共催団体として支援する。

② 看護系学会等社会保険連合

- ・ 平成 26 年度看保連総会が 4 月 21 日に行われた。
- ・ 平成 26 年度の理事会は、6 月から 10 月までに 3 回開催された。特に第 1 回理事会(6 月 16 日)では、平成 27 年度介護報酬改定に向けた要望書(案)について議論を行い、加筆修正を行った。
- ・ 平成 26 年度診療報酬改定における看保連の成果について
看保連が提出した要望書の 35 項目中 9 項目、医療技術提案書の 23 項目中 4 項目を実現することができた。
- ・ 平成 26 年診療報酬改定に対する疑義解釈資料（その 1）（平成 26 年 3 月 31 日公示）のうち、「がん患者指導管理料 2」の算定要件となる看護師の研修に「皮膚・排泄ケア」が含まれていなかったため、研修内容に含めるよう要望した。
- ・ 「平成 27 年度介護報酬改定に向けての要望書」を平成 26 年 8 月 13 日に厚生労働省老健局老人保健課に提出した。
- ・ 平成 26 年 9 月 9 日(火)の 18 時 30 分から 20 時 30 分まで、聖路加国際大学において第 13 回三保連合同シンポジウムを開催した。今回は看保連が世話人となって企画し、実施した。テーマは「医療と介護の連携」で、診療報酬・介護報酬の観点から医療と看護と介護の連携とその促進について考えるという趣旨で行われ、看保連からは、林優子理事がプレゼンを行った。
- ・ 看保連加盟学会・団体に対して、次年度診療報酬並びに介護報酬改定に向けた意向調査を実施した。9 月 22 日に依頼文書を送付。

③ 日本学術会議

- ・ 日本学術会議から提供のあった日本学術会議ニュース・メールを役員に提供した。

④ その他の機関

- ・ 対応すべき事案はなかった。

15) 選挙管理委員会

- ・ 選挙管理委員会を3回開催した。
- ・ 代議員選挙を以下の日程で電子投票にて行う。平成26年9月8日（月）公示、10月10日（金）選挙人名簿に関わる異動届の受付期限、11月下旬に投票要領等発送、平成27年1月13日（火）～27日（火）投票受付期間、1月29日（木）開票。
- ・ 役員候補者選挙を以下の日程で電子投票にて行う。平成27年3月2日（月）公示、3月16日（月）～29日（日）投票受付期間、3月30日（月）開票。

貸借対照表
平成 26年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	91,908,366	76,662,373	15,245,993
未収会費	2,500,000	1,380,000	1,120,000
未収金	840,000	389,013	450,987
たな卸資産	286,916	193,568	93,348
前払費用	2,153,101	1,786,835	366,266
流動資産合計	97,688,383	80,411,789	17,276,594
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
選挙積立預金	1,445,466	1,362,252	83,214
退職給付引当資産	3,112,500	2,184,239	928,261
寄付積立資産	0	20,000	△ 20,000
災害看護支援資産	1,486,251	2,085,957	△ 599,706
災害支援準備資金	3,500,000	0	3,500,000
特定資産合計	9,544,217	5,652,448	3,891,769
(3) その他固定資産			
什器備品	261,792	313,145	△ 51,353
ソフトウェア	0	162,433	△ 162,433
一括償却資産	105,545	68,988	36,557
電話加入権	72,030	72,030	0
保証金	1,400,000	1,400,000	0
長期前払費用	105,000	0	105,000
その他固定資産合計	1,944,367	2,016,596	△ 72,229
固定資産合計	11,488,584	7,669,044	3,819,540
資産合計	109,176,967	88,080,833	21,096,134
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	17,350,000	16,850,000	500,000
未払費用	856,540	2,559,409	△ 1,702,869
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	471,300	600,600	△ 129,300
前受金	1,458,000	0	1,458,000
預り金	112,870	236,972	△ 124,102
仮受金	10,000	0	10,000
流動負債合計	20,328,710	20,316,981	11,729
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,112,500	2,184,239	928,261
固定負債合計	3,112,500	2,184,239	928,261
負債合計	23,441,210	22,501,220	939,990
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	72,926,624	72,926,624	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 指定正味財産			
寄付金	1,486,251	2,105,957	△ 619,706
指定正味財産合計	1,486,251	2,105,957	△ 619,706
(うち特定資産への充当額)	(1,486,251)	(2,105,957)	(△ 619,706)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	11,322,882	△ 9,452,968	20,775,850
一般正味財産合計	11,322,882	△ 9,452,968	20,775,850
(うち特定資産への充当額)	(4,945,466)	(1,362,252)	(3,583,214)
正味財産合計	85,735,757	65,579,613	20,156,144
負債及び正味財産合計	109,176,967	88,080,833	21,096,134

貸借対照表内訳表
平成 26年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	91,908,366	0	91,908,366
未収会費	0	0	2,500,000	0	2,500,000
未収金	840,000	0	0	0	840,000
たな卸資産	286,916	0	0	0	286,916
前払費用	1,681,250	0	471,851	0	2,153,101
他会計短期貸付金	0	0	22,515,235	△ 22,515,235	0
流動資産合計	2,808,166	0	117,395,452	△ 22,515,235	97,688,383
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2) 特定資産					
選挙積立預金	0	0	1,445,466	0	1,445,466
退職給付引当資産	0	0	3,112,500	0	3,112,500
災害看護支援資産	1,486,251	0	0	0	1,486,251
災害支援準備資金	3,500,000	0	0	0	3,500,000
特定資産合計	4,986,251	0	4,557,966	0	9,544,217
(3) その他固定資産					
什器備品	96,056	4,232	161,504	0	261,792
一括償却資産	0	0	105,545	0	105,545
電話加入権	0	0	72,030	0	72,030
保証金	0	0	1,400,000	0	1,400,000
長期前払費用	0	0	105,000	0	105,000
その他固定資産合計	96,056	4,232	1,844,079	0	1,944,367
固定資産合計	5,082,307	4,232	6,402,045	0	11,488,584
資産合計	7,890,473	4,232	123,797,497	△ 22,515,235	109,176,967
II 負債の部					
1. 流動負債					
前受会費	150,000	0	17,200,000	0	17,350,000
未払費用	719,756	0	136,784	0	856,540
未払法人税等	0	70,000	0	0	70,000
未払消費税等	0	0	471,300	0	471,300
前受金	0	1,458,000	0	0	1,458,000
預り金	0	0	112,870	0	112,870
仮受金	0	0	10,000	0	10,000
他会計短期借入金	21,076,834	1,438,401	0	△ 22,515,235	0
流動負債合計	21,946,590	2,966,401	17,930,954	△ 22,515,235	20,328,710
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	3,112,500	0	3,112,500
固定負債合計	0	0	3,112,500	0	3,112,500
負債合計	21,946,590	2,966,401	21,043,454	△ 22,515,235	23,441,210
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	0	0	72,926,624	0	72,926,624
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 指定正味財産					
寄付金	1,486,251	0	0	0	1,486,251
指定正味財産合計	1,486,251	0	0	0	1,486,251
(うち特定資産への充当額)	(1,486,251)	(0)	(0)	(0)	(1,486,251)
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他一般正味財産	△ 15,542,368	△ 2,962,169	29,827,419	0	11,322,882
一般正味財産合計	△ 15,542,368	△ 2,962,169	29,827,419	0	11,322,882
(うち特定資産への充当額)	(3,500,000)	(0)	(1,445,466)	(0)	(4,945,466)
正味財産合計	△ 14,056,117	△ 2,962,169	102,754,043	0	85,735,757
負債及び正味財産合計	7,890,473	4,232	123,797,497	△ 22,515,235	109,176,967

正味財産増減計算書

平成 25年 4月 1日 から平成 26年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	676	661	15
受取会費			
正会員受取会費	76,150,000	70,450,000	5,700,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
受取会費計	76,450,000	70,750,000	5,700,000
事業収益			
学会誌収益	3,142,227	2,304,289	837,938
学術集会収益	41,798,000	37,923,000	3,875,000
広告販売収益	13,221,848	10,232,711	2,989,137
事業収益計	58,162,075	50,460,000	7,702,075
受取寄付金			
受取寄付金	2,009,000	1,020,000	989,000
受取寄付金振替額	1,620,000	3,118,240	△ 1,498,240
受取寄付金計	3,629,000	4,138,240	△ 509,240
雑収益			
受取利息	5,102	4,646	456
著作権料収益	310,856	383,270	△ 72,414
セミナー収益	3,460,000	0	3,460,000
懇親会収益	806,000	538,000	268,000
雑収益	7,076	1,724,000	△ 1,716,924
雑収益計	4,589,034	2,649,916	1,939,118
経常収益計	142,830,785	127,998,817	14,831,968
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	272,687	173,202	99,485
和文誌発行費	8,997,368	12,540,425	△ 3,543,057
英文誌発行費	18,003,619	16,658,907	1,344,712
学術集会プログラム・案内	0	5,196,970	△ 5,196,970
期末たな卸高	△ 286,916	△ 193,568	△ 93,348
給料手当	5,609,230	5,753,186	△ 143,956
臨時雇賃金	268,200	196,200	72,000
賞与	398,817	267,739	131,078
退職給付費用	355,601	237,828	117,773
福利厚生費	698,654	698,619	35
旅費交通費	3,759,953	2,866,223	893,730
通信運搬費	3,029,623	1,256,102	1,773,521
減価償却費	22,949	28,173	△ 5,224
消耗品費	475,929	358,721	117,208
修繕費	58,324	12,403	45,921
印刷製本費	9,573,893	6,627,482	2,946,411
光熱水料費	276,478	246,608	29,870
賃借料	1,653,827	1,809,122	△ 155,295
保険料	21,720	2,774	18,946
諸謝金	1,206,500	918,104	288,396
租税公課	752,948	600,600	152,348
支払助成金	1,600,000	2,818,240	△ 1,218,240
委託費	11,675,463	10,099,843	1,575,620
会議費	1,072,471	1,237,302	△ 164,831
表彰費	123,513	118,925	4,588
会場費	20,454,095	28,365,975	△ 7,911,880
通勤手当	575,701	511,305	64,396
懇親会費	0	720,114	△ 720,114
雑費	1,717,626	795,738	921,888
事業費計	92,368,273	100,923,262	△ 8,554,989
管理費			
給料手当	9,033,108	8,858,634	174,474
賞与	642,255	412,261	229,994
臨時雇賃金	120,750	118,000	2,750
退職給付費用	572,660	366,203	206,457
福利厚生費	1,125,114	1,075,720	49,394
会議費	5,035,492	3,810,640	1,224,852
渉外費	10,290	10,290	0
旅費交通費	451,690	653,717	△ 202,027

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通信運搬費	1,340,963	1,203,816	137,147
減価償却費	260,704	366,994	△ 106,290
通勤手当	927,109	787,295	139,814
消耗品費	543,098	581,699	△ 38,601
修繕費	93,926	19,097	74,829
印刷製本費	96,102	29,028	67,074
慶弔費	0	65,717	△ 65,717
光熱水料費	445,241	379,724	65,517
賃借料	2,663,325	2,785,650	△ 122,325
保険料	4,784	4,270	514
諸謝金	211,603	0	211,603
租税公課	22,049	55,111	△ 33,062
支払負担金	280,000	280,000	0
委託費	3,092,627	2,391,419	701,208
資格喪失者会費	970,000	1,420,000	△ 450,000
懇親会費	875,080	0	875,080
雑費	877,660	763,808	113,852
管理費計	29,695,630	26,439,093	3,256,537
経常費用計	122,063,903	127,362,355	△ 5,298,452
評価損益等調整前当期経常増減額	20,766,882	636,462	20,130,420
当期経常増減額	20,766,882	636,462	20,130,420
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期たな卸高修正益	79,119	0	79,119
経常外収益計	79,119	0	79,119
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	151	0	151
前期たな卸高修正損	0	1,267	△ 1,267
経常外費用計	151	1,267	△ 1,116
当期経常外増減額	78,968	△ 1,267	80,235
税引前当期一般正味財産増減額	20,845,850	635,195	20,210,655
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	20,775,850	565,195	20,210,655
一般正味財産期首残高	△ 9,452,968	△ 10,018,163	565,195
一般正味財産期末残高	11,322,882	△ 9,452,968	20,775,850
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	1,000,150	1,457,100	△ 456,950
特定資産受取利息	144	345	△ 201
受取寄付金計	1,000,294	1,457,445	△ 457,151
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 1,620,000	△ 3,118,240	1,498,240
当期指定正味財産増減額	△ 619,706	△ 1,660,795	1,041,089
指定正味財産期首残高	2,105,957	3,766,752	△ 1,660,795
指定正味財産期末残高	1,486,251	2,105,957	△ 619,706
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	72,926,624	72,926,624	0
基金期末残高	72,926,624	72,926,624	0
IV 正味財産期末残高	85,735,757	65,579,613	20,156,144

正味財産増減計算書内訳表
平成 25年 4月 1日 から平成 26年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							収益事業等会計				法人会計	合計
	学術振興事業	学会誌事業	学術集会事業	市民講座等事業	災害看護支援事業	共通	小計	広告販売事業	連携事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益													
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	676	676
受取会費													
正会員受取会費	0	0	0	0	0	30,460,000	30,460,000	0	0	0	0	45,690,000	76,150,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	0	0	0	0	300,000
受取会費計	0	0	0	0	0	30,760,000	30,760,000	0	0	0	0	45,690,000	76,450,000
事業収益													
学会誌収益	0	3,142,227	0	0	0	0	3,142,227	0	0	0	0	0	3,142,227
学術集会収益	0	0	41,798,000	0	0	0	41,798,000	0	0	0	0	0	41,798,000
広告販売収益	0	0	0	0	0	0	0	13,221,848	0	0	13,221,848	0	13,221,848
事業収益計	0	3,142,227	41,798,000	0	0	0	44,940,227	13,221,848	0	0	13,221,848	0	58,162,075
受取寄付金													
受取寄付金	0	0	2,009,000	0	0	0	2,009,000	0	0	0	0	0	2,009,000
受取寄付金振替額	0	0	20,000	0	1,600,000	0	1,620,000	0	0	0	0	0	1,620,000
受取寄付金計	0	0	2,029,000	0	1,600,000	0	3,629,000	0	0	0	0	0	3,629,000
雑収益													
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,102	5,102
著作権料収益	0	310,856	0	0	0	0	310,856	0	0	0	0	0	310,856
セミナー収益	2,081,000	1,379,000	0	0	0	0	3,460,000	0	0	0	0	0	3,460,000
懇親会収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	806,000	806,000
雑収益	3,572	0	0	0	0	0	3,572	0	0	0	0	3,504	7,076
雑収益計	2,084,572	1,689,856	0	0	0	0	3,774,428	0	0	0	0	814,606	4,589,034
経常収益計	2,084,572	4,832,083	43,827,000	0	1,600,000	30,760,000	83,103,655	13,221,848	0	0	13,221,848	46,505,282	142,830,785
(2) 経常費用													
事業費													
期首たな卸高	0	272,687	0	0	0	0	272,687	0	0	0	0	0	272,687
和文誌発行費	0	8,997,368	0	0	0	0	8,997,368	0	0	0	0	0	8,997,368
英文誌発行費	0	18,003,619	0	0	0	0	18,003,619	0	0	0	0	0	18,003,619
期末たな卸高	0	△ 286,916	0	0	0	0	△ 286,916	0	0	0	0	0	△ 286,916
給料手当	2,752,106	1,215,194	1,273,537	131,688	0	0	5,372,525	86,681	150,024	0	236,705	0	5,609,230
臨時雇賃金	33,000	73,700	158,678	0	0	0	265,378	2,822	0	0	2,822	0	268,200
賞与	195,675	86,400	90,549	9,363	0	0	381,987	6,163	10,667	0	16,830	0	398,817
退職給付費用	174,472	77,038	80,737	8,348	0	0	340,595	5,495	9,511	0	15,006	0	355,601
福利厚生費	342,787	151,358	158,625	16,402	0	0	669,172	10,796	18,686	0	29,482	0	698,654
旅費交通費	1,494,496	1,063,076	1,110,144	68,746	0	0	3,736,462	20,864	2,627	0	23,491	0	3,759,953
通信運搬費	449,798	221,346	2,266,381	20,334	0	0	2,957,859	49,715	22,049	0	71,764	0	3,029,623
減価償却費	0	0	0	0	0	19,619	19,619	340	2,990	0	3,330	0	22,949
消耗品費	187,396	102,590	157,797	12,530	0	0	460,313	6,638	8,978	0	15,616	0	475,929
修繕費	28,616	12,636	13,242	1,369	0	0	55,863	901	1,560	0	2,461	0	58,324
印刷製本費	29,279	107,586	9,268,520	1,401	0	0	9,406,786	165,511	1,596	0	167,107	0	9,573,893
光熱水料費	135,651	59,897	62,772	6,491	0	0	264,811	4,272	7,395	0	11,667	0	276,478
賃借料	811,432	358,288	375,490	38,827	0	0	1,584,037	25,557	44,233	0	69,790	0	1,653,827
保険料	1,457	644	19,424	70	0	0	21,595	46	79	0	125	0	21,720
諸謝金	182,478	83,411	840,378	100,233	0	0	1,206,500	0	0	0	0	0	1,206,500
租税公課	47,773	110,740	291,421	0	0	0	449,934	303,014	0	0	303,014	0	752,948
支払助成金	0	0	0	0	1,600,000	0	1,600,000	0	0	0	0	0	1,600,000
委託費	969,130	853,936	9,762,328	48,839	0	0	11,634,233	15,097	26,133	0	41,230	0	11,675,463
会議費	115,903	167,078	747,472	28,725	0	0	1,059,178	13,293	0	0	13,293	0	1,072,471
表彰費	0	123,513	0	0	0	0	123,513	0	0	0	0	0	123,513
会場費	1,015,784	204,000	18,480,703	424,950	0	0	20,125,437	328,658	0	0	328,658	0	20,454,095
通勤手当	282,461	124,721	130,709	13,516	0	0	551,407	8,896	15,398	0	24,294	0	575,701
雑費	331,182	118,069	1,213,207	12,795	0	0	1,675,253	27,797	14,576	0	42,373	0	1,717,626
事業費計	9,580,876	32,301,979	46,502,114	944,627	1,600,000	19,619	90,949,215	1,082,556	336,502	0	1,419,058	0	92,368,273

[illegible]

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)当法人は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法
法人税法の規定に基づき次のとおりの償却方法を採用している。
①什器備品・・・・・・定率法によっている。
②ソフトウェア・・・・5年間にわたる定額法によっている。
③一括償却資産・・・・3年間にわたる定額法によっている。

(4)引当金の計上基準
退職給付引当金・・・・・・当期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(5)消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6)前期たな卸高修正益
前期末のたな卸資産の計上額に誤りがあったため、期中において修正を行い、その修正額79,119円を前期たな卸高修正益に計上している。そのため貸借対照表（前年度）のたな卸資産193,568円と正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表における期首たな卸高272,687円には79,119円の差額が生じている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
選挙積立預金	1,362,252	200,254	117,040	1,445,466
退職給付引当資産	2,184,239	928,261	0	3,112,500
寄付積立資産	20,000	0	20,000	0
災害看護支援資産	2,085,957	1,000,294	1,600,000	1,486,251
災害支援準備資金	0	3,500,000	0	3,500,000
合 計	5,652,448	5,628,809	1,737,040	9,544,217

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの充 当額)	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産					
選挙積立預金	1,445,466	(0)	(0)	(1,445,466)	(0)
退職給付引当資産	3,112,500	(0)	(0)	(0)	(3,112,500)
災害看護支援資産	1,486,251	(0)	(1,486,251)	(0)	(0)
災害支援準備資金	3,500,000	(0)	(0)	(3,500,000)	(0)
合 計	9,544,217	(0)	(1,486,251)	(4,945,466)	(3,112,500)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)	
内 容	金 額
元気な高齢者を増やす取組み 川嶋みどり	500,000
復興の力、コミュニティ再建のための中長期支援～はまってけらいん（集まって）かだってけらいん（語って）を合い言葉に～ 尾山とし子	400,000
(株)アトラス旅行、(株)学研メディカル秀潤社	400,000
宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動の充実強化 佐々木久美子	300,000
第33回学術集会 （右黒メディカルシステム(株)より寄付)	20,000
合 計	1,620,000

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)			
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,191,396	2,929,604	261,792
ソフトウェア	1,739,430	1,739,430	0
一括償却資産	210,056	104,511	105,545

法 人 名：公益社団法人 日本看護科学学会

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)					
区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	選挙積立預金	1,362,252	200,254	117,040	1,445,466
	退職給付引当資産	2,184,239	928,261	0	3,112,500
	寄付積立資産	20,000	0	20,000	0
	災害看護支援資産	2,085,957	1,000,294	1,600,000	1,486,251
	災害支援準備資金	0	3,500,000	0	3,500,000
	特定資産計	5,652,448	5,628,809	1,737,040	9,544,217
その他固定資産	什器備品	313,145	0	51,353	261,792
	ソフトウェア	162,433	0	162,433	0
	一括償却資産	68,988	106,575	70,018	105,545
	電話加入権	72,030	0	0	72,030
	保証金	1,400,000	0	0	1,400,000
	長期前払費用	0	105,000		105,000
	その他固定資産計	2,016,596	211,575	283,804	1,944,367

2. 引当金の明細

(単位：円)					
科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2, 184, 239	928, 261	0	0	3, 112, 500

財産目録

平成 26年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	手元現金 学術集会用小口現金	運転資金として 運転資金として	52,904 7,294
		普通預金 みずほ銀行本郷支店 三菱東京UFJ銀行本郷支店 三菱東京UFJ銀行本郷支店 ゆうちょ銀行 三菱東京UFJ銀行藤ヶ丘支店	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	79,668,723 3,252,215 5,860,361 2,615,620 451,249
	未収会費	平成25年度会費	会員会費未収金250名分	2,500,000
	未収金	㈱国際文献社 ㈱メテオ	学会誌・講演集販売代金の未収金H26.1～3月分 会誌著作権料H25.4～26.3月分	837,638 2,362
	たな卸資産	学会誌・学術講演集在庫	学会誌及び学術講演集	286,916
	前払費用	(有)プライムアソシエイツ ㈱損害保険ジャパン (有)富士見ビル(フジミビル) ウィリアム・ルイス・ホルツマー 弥生㈱ 春日土地㈱ 事務所賃借更新料	JJNS編集事務費H26.4.1～H26.12.31 火災保険料H26.4月分 事務所賃借料H26.4月分 JJNS編集長報酬H26.4～6月分 年間ネット更新料H26.4～27.3月分 管理業務の用に供している。	1,181,250 651 288,000 500,000 43,200 140,000
流動資産合計				97,688,383
(固定資産)	特定資産			
	選挙積立預金	普通預金 みずほ銀行本郷支店	管理業務の用に供している。	1,445,466
	退職給付引当資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	退職金の引当資産である。	3,112,500
	災害看護支援資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	指定正味財産を財源とする財産であり、災害看護支援事業のために寄付を受けて	1,486,251
	災害支援準備資金	普通預金 みずほ銀行本郷支店	平成26年度の災害支援費用に充てるための特定費用準備資金であり、災害看護支援事業で使用する予定の資金である。	3,500,000
	その他固定資産			
	什器備品	東京都文京区本郷3-37-3 オカムラ両開き書庫他5点	共用財産であり、公益目的事業の用に36.7%、収益事業の用に1.6%、管理業務の用に61.7%供している。公益目的事業の用に供している部分は、公益目的保有財	261,792
	一括償却資産	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	105,545
	電話加入権	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	72,030
	保証金	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	1,400,000
	長期前払費用	春日土地㈱ 事務所賃借更新料 280,000円×9/24ヵ月(H27.4.1～H27.12.31)	管理業務の用に供している。	105,000
固定資産合計				11,488,584
資産合計				109,176,967

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	前受会費	平成26年度・27年度会費	平成26年度正会員10,000円×1,718名 平成27年度正会員10,000円×2名 平成26年度賛助会員 50,000円 (3口)	17,350,000
	未払費用	日本郵便㈱ 災害看護支援事業専門委員会委員 看護倫理検討委員会委員	第34回学術集会案内パンフレット7,589通 第1回及び2回委員会交通費	511,471 2,240
			第2回委員会弁当代	11,025
			第2回委員会交通費	115,860
			第2回委員会交通費	47,660
		国際活動推進委員会委員 ㈱国際文献社 厚生労働省年金局 日本郵便㈱	和文誌アンケート集計作業	31,500
			社会保険料(H26.3月分)	131,670
			郵便料金口座振替(H26.3月分)	5,114
	未払法人税等	東京都千代田都税事務所	平成25年度法人都民税	70,000
	未払消費税等	本郷税務署	平成25年度消費税及び地方消費税	471,300
	前受金	㈱メルシー他4件	第34回学術集会企業展示出展料	972,000
		㈱アトラス旅行、㈱学研メディカル秀潤社	第34回学術集会広告掲載料	162,000
		丸善㈱他2件	第34回学術集会書籍展示	324,000
	預り金	事務所員	給与源泉税・住民税	78,820
		中村コンサルティングオフィス、他1名	報酬源泉税	34,050
	仮受金	一般社団法人日本動脈硬化学会	年会費の誤入金分	10,000
流動負債合計				20,328,710
(固定負債)	退職給付引当金	事務所員8名分	平成26年3月末日要支給額	3,112,500
固定負債合計				3,112,500
負債合計				23,441,210
正味財産				85,735,757

平成 25 年度 収支計算書

平成25 年 4月 1日 から平成 26年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	備考	平成25年度 予算額	平成25年度 決算額	差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入		1,000	676	324
特定資産受取利息収入		1,000	676	324
②会費収入		74,600,000	76,450,000	△ 1,850,000
正会員会費収入	※1	74,300,000	76,150,000	△ 1,850,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入（講演集含む）		2,163,000	3,142,227	△ 979,227
④寄付金収入（学術集会分含まず）	※3	1,500,000	1,000,294	499,706
⑤雑収入		2,003,000	3,783,034	△ 1,780,034
受取利息収入		3,000	5,102	△ 2,102
著作権料収入		100,000	310,856	△ 210,856
セミナー収益		1,900,000	3,460,000	△ 1,560,000
JANSセミナー（2回）		1,100,000	2,081,000	△ 981,000
JJNSセミナー		800,000	1,379,000	△ 579,000
その他雑収入		0	7,076	△ 7,076
⑥学術集会収入	※4	42,262,000	57,834,848	△ 15,572,848
学術集会参加費収入		31,280,000	41,798,000	△ 10,518,000
事前登録会員（1万円）		12,000,000	17,010,000	△ 5,010,000
事前登録非会員（1.2万円）		5,160,000	5,088,000	72,000
事前登録学部生（0.3万円）		180,000	12,000	168,000
当日登録会員（1.2万円）		9,600,000	12,072,000	△ 2,472,000
当日登録非会員（1.4万円）		4,340,000	7,406,000	△ 3,066,000
当日登録学部生（0.3万円）		0	210,000	△ 210,000
寄付金収入		1,000,000	2,009,000	△ 1,009,000
広告販売収入		9,342,000	13,221,848	△ 3,879,848
企業展示出展料		3,210,000	5,693,348	△ 2,483,348
広告掲載料		4,242,000	4,347,000	△ 105,000
スポンサードセミナー		1,890,000	2,677,500	△ 787,500
キャリア開発展示		0	504,000	△ 504,000
懇親会収入		640,000	806,000	△ 166,000
雑収入		0	0	0
事業活動収入合計（I a）		122,529,000	142,211,079	△ 19,682,079
2. 事業活動支出				
①事業費支出		81,958,950	80,646,978	1,311,972
学会誌発行費支出		29,531,000	27,000,987	2,530,013
和文誌編集・印刷費支出	※5	10,350,000	6,962,409	3,387,591
和文誌発送費支出		2,816,000	2,034,959	781,041
英文誌編集・印刷費支出	※6	15,020,000	16,729,050	△ 1,709,050
英文誌発送費支出		1,345,000	1,274,569	70,431
編集活動費支出		2,393,000	2,359,636	33,364
和文誌編集委員会費支出		640,000	667,077	△ 27,077
英文誌編集委員会費支出		1,753,000	1,692,559	60,441
看護学術振興費支出		4,973,000	3,731,310	1,241,690
看護学学術用語検討委員会費支出	※7	576,000	824,580	△ 248,580
国際活動推進委員会費支出	※8	975,000	642,980	332,020
看護倫理検討委員会費支出		500,000	388,002	111,998
研究・学術情報委員会費支出	※9	511,000	155,880	355,120
表彰論文選考委員会費支出	※10	311,000	19,890	291,110
災害看護支援事業委員会費支出		100,000	53,775	46,225
学術振興事業検討委員会費支出	※11	500,000	46,203	453,797
災害看護支援事業助成金支出	※12	1,500,000	1,600,000	△ 100,000
研究学術活動費支出		1,201,000	1,427,117	△ 226,117
受賞論文表彰費支出	※13	80,000	123,513	△ 43,513
研究倫理審査委員会費支出		121,000	0	121,000
セミナー等開催費支出	※14	1,000,000	1,303,604	△ 303,604
社会的活動費支出		1,256,500	651,878	604,622
社会貢献委員会費支出	※15	1,256,500	651,878	604,622
総務費支出		1,102,000	512,400	589,600
総務委員会費支出		370,000	209,970	160,030
広報委員会費支出	※16	732,000	302,430	429,570

科 目	備考	平成25年度 予算額	平成25年度 決算額	差異
学術集会費支出		41,502,450	44,963,650	△ 3,461,200
当年度開催学術集会		39,171,700	42,845,951	△ 3,674,251
会場費支出		19,829,010	18,809,361	1,019,649
会議費支出		408,660	747,839	△ 339,179
旅費交通費支出		1,146,000	913,848	232,152
消耗品費支出		60,000	80,414	△ 20,414
通信運搬費支出（プログラム送料含む）		1,177,150	1,316,688	△ 139,538
印刷製本費支出（プログラム印刷含む）	※17	7,473,640	8,825,785	△ 1,352,145
委託費支出	※18	5,115,370	9,025,061	△ 3,909,691
人件費支出		516,000	161,500	354,500
諸謝金支出	※19	290,000	840,378	△ 550,378
保険料支出		0	18,750	△ 18,750
渉外費支出		0	0	0
雑費支出		2,110,470	1,108,740	1,001,730
懇親会運営費支出		1,045,400	997,587	47,813
次年度開催学術集会（準備期間）		2,330,750	2,117,699	213,051
会場費支出		0	0	0
会議費支出		49,500	12,926	36,574
旅費交通費支出		490,000	193,340	296,660
消耗品費支出		10,000	2,625	7,375
通信運搬費支出（パンフレット送料含む）		725,000	799,496	△ 74,496
印刷製本費支出（パンフレット印刷含む）		906,250	593,775	312,475
委託費支出		150,000	515,432	△ 365,432
人件費支出		0	0	0
諸謝金支出		0	0	0
貸貸料支出		0	0	0
渉外費支出		0	0	0
雑費支出		0	105	△ 105
懇親会運営費支出		0	0	0
②管理費支出		40,987,000	40,289,240	697,760
給料手当支出		15,550,000	15,683,410	△ 133,410
通勤費支出		1,407,000	1,502,810	△ 95,810
退職給付支出		300,000	0	300,000
福利厚生費支出		1,640,000	1,823,768	△ 183,768
会議費支出（学会総会費）		500,000	713,182	△ 213,182
会議費支出（社員総会費）		2,660,000	2,492,095	167,905
会議費支出（理事会費）		2,338,000	1,813,730	524,270
委託費支出		4,134,000	4,035,953	98,047
渉外費支出		30,000	10,290	19,710
旅費交通費支出		280,000	256,420	23,580
通信運搬費支出		2,050,000	2,151,995	△ 101,995
消耗品費支出		1,000,000	876,208	123,792
印刷製本費支出		120,000	95,812	24,188
慶弔費支出		50,000	0	50,000
光熱水料費支出		660,000	721,719	△ 61,719
賃借料支出		4,900,000	4,317,152	582,848
保険料支出		8,000	7,754	246
諸謝金支出		50,000	0	50,000
租税公課支出	※20	570,000	844,997	△ 274,997
負担金支出		280,000	280,000	0
修繕費支出	※21	50,000	152,250	△ 102,250
選挙費用支出		150,000	117,040	32,960
資格喪失者会費支出	※22	1,000,000	970,000	30,000
雑費支出		1,260,000	1,422,655	△ 162,655
事業活動支出合計（I b）		122,945,950	120,936,218	2,009,732
事業活動収支差額（I a）-（I b）		△ 416,950	21,274,861	△ 21,691,811

科 目	備考	平成25年度 予算額	平成25年度 決算額	差異
Ⅱ 投資活動収支の部（資金の内部移動）				
1. 投資活動収入（各種立金を取り崩し、それを資金として使用する）				
選挙積立取崩（選挙費用として使用）		150,000	117,040	32,960
退職給付引当資産取崩		300,000	0	300,000
寄付資産取崩	※23	0	20,000	△ 20,000
災害看護支援資産取崩（災害看護支援助成金へ）		1,500,000	1,600,000	△ 100,000
投資活動収入合計（Ⅱa）		1,950,000	1,737,040	212,960
2. 投資活動支出（目的のある積立をするために、事業活動の資金を各種立預金に振り替える）				
選挙積立預金		200,000	200,254	△ 254
退職給付引当金積立		600,000	928,261	△ 328,261
災害看護支援資産事業積立		1,500,000	1,000,294	499,706
災害支援準備資金取得積立	※24	0	3,500,000	△ 3,500,000
什器備品購入支出		100,000	0	100,000
一括償却資産購入支出		0	106,575	△ 106,575
事務所更新料（長期前払費用）		105,000	105,000	0
投資活動支出合計（Ⅱb）		2,505,000	5,840,384	△ 3,335,384
投資活動収支差額（Ⅱa）-（Ⅱb）		△ 555,000	△ 4,103,344	3,548,344
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計（Ⅲa）		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計（Ⅲb）		0	0	0
財務活動収支差額（Ⅲa）-（Ⅲb）		0	0	0
Ⅳ 予備費支出		3,000,000	0	3,000,000
当期収支差額		△ 3,971,950	17,171,517	
前期繰越収支差額		59,901,240	59,901,240	
次期繰越収支差額		55,929,290	77,072,757	

- ※1 平成25年4月1日現在の会員登録数6713名（請求人数）、平成25年度中の新入会・再入会者が902名。
- ※2 ㈱日本看護協会出版会2口、㈱医学書院・㈱南江堂・㈱へるす出版・ヌーヴェルヒロカワ各1口。
- ※3 災害看護支援事業寄付金＋受取利息
- ※4 参加人数が予算を大幅に上回った。（2800人→3734人）
- ※5 2014年1月よりオンラインジャーナルに完全移行したため、紙媒体の発行回数が減少した。
- ※6 編集事務費の超過分を40編と見込んでいたところ、196編あったため予算より156編超過した。
- ※7 予算立案時（前委員会）より遠方の委員が増加したため、旅費交通費が予算を上回った。
- ※8 異文化データベースの更新を検討したが、今期中に完結しなかったため予算を下回った。
- ※9 委員会で予算化したセミナーに係る費用を「セミナー等開催費」から支出したため予算を下回った。
- ※10 WEB会議の利用と、遠方の委員が少なかったことにより交通費が予算を下回った。
- ※11 委員会で予算化した会場費などを「セミナー等開催費」から支出したため予算を下回った
- ※12 別紙《災害看護支援事業収支報告書》を参照のこと。
- ※13 表彰論文数が多かったため。
- ※14 会場費が予算を上回ったため。
- ※15 予算立案時（前委員会）より遠方の委員が減少したため、旅費交通費が予算を下回った。
- ※16 メールでの会議も取り入れたため、旅費交通費の支出が予算を下回った。
- ※17 事前参加登録者が想定人数を上回ったため、講演集、プログラム集の印刷部数を増やした。
- ※18 参加人数が想定を上回ったため、当日の業者スタッフを増員した。
- ※19 「会計に関する申し合わせ事項」の改訂により、会員である講師にも謝金を支払えるようになったため。
- ※20 収益事業（学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入）に関わる法人税および法人事業税は0円、法人住民税7万円（均等割のみ）
消費税課税売上高（学術集會非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など）から簡易課税方式にて計算した消費税771,500円
印紙税3,484円、利子源泉税13円
- ※21 印刷機の使用期間が、開始から3年を経過したため保守契約を結んだ。
- ※22 平成24年4月1日付の資格喪失者のうち、平成25年3月31日までに未納会費を納入し再入会したもの以外は損失分として支出に計上される。
- ※23 平成24年度（開催前年）中に受領した第33回学術集会への寄付金を平成25年度（開催年度）に活動資金として使用した。
- ※24 平成26年度の災害支援費用に充てるための特定費用準備資金であり、災害看護支援事業で使用する予定の資金である。

災害看護支援事業収支報告書

2014年3月31日 現在

(単位:円)

項 目	平成25(2013)年度	
前年度より繰越	2,085,957	
収入合計	1,000,294	
①災害看護支援寄附金収入	1,000,150	
《内訳》 団体	4件	475,491
個人	3名	220,000
ワンコイン募金(JANS33)		304,659
②預金利息	144	
支出合計	1,600,000	
災害看護支援助成支出	4件	1,600,000
単年度残高	-599,706	
災害支援準備資金 ※1	3,500,000	
災害看護支援口(積立金)口座残高 (2014年3月31日現在) ※2	4,986,251	
《内訳》 三菱東京UFJ 銀行	1,486,251	
ゆうちょ銀行	0	
みずほ銀行	3,500,000	

※1 特定費用準備資金。平成26年度の災害看護支援事業で使用する予定の準備資金。

※2 「特定資産」として一般正味財産とは別途の財産管理(法人化以前の「特別会計」と同様の扱い)をしている。

《助成支出内訳》 平成25(2013)年度

代表者名	事業名	助成金額
川嶋 みどり	元気な高齢者を増やす取組み	500,000
渋谷 えみ	東日本大震災および福島原発事故により茨城県に避難している母子の支援活動	400,000
尾山 とし子	復興の力、コミュニティ再建のための中長期支援～はまってけらいん(集まって)かだってけらいん(語って)を合い言葉に～	400,000
佐々木 久美子	宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動の充実強化	300,000
		4件 1,600,000

公益社団法人 日本看護科学学会
災害看護支援事業専門委員会

公益社団法人 日本看護科学学会 平成 27 年度事業計画

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

1. 第 35 回日本看護科学学会学術集会開催
2. 第 36 回・第 37 回日本看護科学学会学術集会準備
3. 和文誌の発行 …電子ジャーナル (J-Stage)
4. 英文誌の発行 …電子ジャーナル (Wiley)
5. 看護学学術振興対策
 - 1) 看護学学術用語の検討
 - 2) 国際活動の推進 (世界看護科学学会を含む)
 - 3) 看護倫理の検討と啓発
 - ・学術活動の利益相反 (COI) に関する指針および細則の施行
 - 4) 研究成果の蓄積と活用
6. 学術研究論文の表彰
7. 学会組織の強化・発展
 - 1) 若手研究推進委員会の活動の推進
 - 2) JANS セミナー
 - 3) JJNS セミナー
8. 社会貢献活動
9. 広報活動
10. 災害看護支援事業 (日本看護系学会協議会との共同事業による)
11. 他機関との連携活動
 - 1) 日本看護系学会協議会
 - 2) 看護系学会等社会保険連合
 - 3) 日本学術会議
 - 4) その他の機関

平成27年度 収支予算書

平成27年4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

科 目	備考	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	平成26年度 予算額 (H. 26. 4. 1～ H. 27. 3. 31)	差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入		1,000	1,000	0
特定資産受取利息収入		1,000	1,000	0
②会費収入		85,700,000	79,800,000	5,900,000
正会員会費収入	※1	85,400,000	79,500,000	5,900,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入（講演集含む）	※3	340,000	2,150,000	△ 1,810,000
④寄附金収入（学術集会含まず）		500,000	1,000,000	△ 500,000
災害看護支援寄附金収入		500,000	1,000,000	△ 500,000
その他の寄附金収入		0	0	0
⑤雑収入		4,403,000	4,403,000	0
受取利息収入		3,000	3,000	0
著作権料収入		100,000	100,000	0
セミナー収入	※4	4,300,000	4,300,000	0
その他雑収入		0	0	0
④学術集会収入		40,128,600	41,064,800	△ 936,200
学術集会参加費収入		31,550,000	32,350,000	△ 800,000
事前登録会員（10,000円）		14,000,000	13,000,000	1,000,000
事前登録非会員（12,000円税込）		3,600,000	5,400,000	△ 1,800,000
学部生（4,000円）	※5	600,000	150,000	450,000
当日登録会員（12,000円）		8,400,000	9,600,000	△ 1,200,000
当日登録非会員（14,000円税込）		4,200,000	4,200,000	0
当日登録学部生（5,000円）		750,000	-	
寄附金・助成金収入		550,000	350,000	200,000
広告販売収入		7,388,600	7,624,800	△ 236,200
企業展示出展料		2,692,000	3,412,800	△ 720,800
広告掲載料		3,271,000	2,484,000	787,000
スポンサーセミナー		1,425,600	1,728,000	△ 302,400
懇親会収入		640,000	640,000	0
雑収入		0	100,000	△ 100,000
事業活動収入合計（I a）		131,072,600	128,418,800	2,653,800
2. 事業活動支出				
①事業費支出		79,307,020	81,165,400	△ 1,858,380
学会誌発行費支出		18,270,000	22,910,000	△ 4,640,000
和文誌編集・印刷費支出	※6	3,770,000	7,200,000	△ 3,430,000
和文誌送費支出		0	1,830,000	△ 1,830,000
英文誌編集費支出	※7	14,500,000	13,880,000	620,000
英文誌送費支出		0	0	0
編集活動費支出		3,613,000	3,113,000	500,000
和文誌編集委員会費支出	※8	830,000	580,000	250,000
英文誌編集委員会費支出	※9	2,783,000	2,533,000	250,000
看護学術振興費支出		6,221,000	5,084,100	1,136,900
看護学術用語検討委員会費支出	※10	1,134,000	854,000	280,000
国際活動推進委員会費支出	※11	2,295,000	800,000	1,495,000
看護倫理検討委員会費支出		500,000	780,000	△ 280,000
研究・学術情報委員会費支出		422,000	453,100	△ 31,100
表彰論文選考委員会費支出		220,000	220,000	0
災害看護支援事業専門委員会支出		150,000	172,000	△ 22,000
学術振興事業検討委員会	※12	0	305,000	△ 305,000
若手研究推進委員会	※13	500,000	0	500,000
災害看護支援助成金支出	※14	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
研究学術活動費支出		3,420,000	2,240,000	1,180,000
受賞論文表彰費支出		180,000	170,000	10,000
研究倫理審査委員会費		120,000	120,000	0
セミナー等開催費	※15	3,120,000	1,950,000	1,170,000
社会的活動費支出		745,000	929,000	△ 184,000
社会貢献委員会支出（市民フォーラム開催費含む）		745,000	929,000	△ 184,000
総務費支出		1,370,000	1,147,000	223,000
総務委員会費支出		450,000	400,000	50,000
広報委員会費支出		920,000	747,000	173,000

科 目	備考	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	平成26年度 予算額 (H. 26. 4. 1～ H. 27. 3. 31)	差異
学術集会費支出		45,668,020	45,742,300	△ 74,280
当年度開催学術集会		42,457,460	43,242,300	△ 784,840
会場費支出		18,150,000	20,796,000	△ 2,646,000
会議費支出		1,888,500	735,000	1,153,500
旅費交通費支出		2,350,000	1,400,000	950,000
消耗品費支出		427,560	452,000	△ 24,440
通信運搬費支出(プログラム送料含む)		1,484,760	1,603,500	△ 118,740
印刷製本費支出(プログラム印刷含む)		6,594,840	8,405,500	△ 1,810,660
委託費支出		7,020,000	6,880,300	139,700
人件費支出		483,000	0	483,000
謝金支出		1,470,000	600,000	870,000
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		50,000	140,000	△ 90,000
雑支出		1,538,800	1,270,000	268,800
懇親会運営費支出		1,000,000	960,000	40,000
次年度開催学術集会(準備期間)		3,210,560	2,500,000	710,560
会場費支出		0	0	0
会議費支出		70,000	50,000	20,000
旅費交通費支出		600,000	500,000	100,000
消耗品費支出		100,000	10,000	90,000
通信運搬費支出(パンフレット送料含む)		1,113,560	770,000	343,560
印刷製本費支出(パンフレット印刷含む)		1,077,000	1,010,000	67,000
委託費支出		0	160,000	△ 160,000
人件費支出		200,000	0	200,000
謝金支出		0	0	0
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		0	0	0
雑支出		50,000	0	50,000
懇親会運営費支出		0	0	0
②管理費支出		47,820,000	45,412,000	2,408,000
給料手当支出	※16	18,980,000	16,530,000	2,450,000
通勤費支出		2,200,000	2,440,000	△ 240,000
福利厚生費支出	※17	2,415,000	1,932,000	483,000
退職給付支出		300,000	300,000	0
学会総会費		300,000	200,000	100,000
社員総会費	※18	3,260,000	2,880,000	380,000
理事会費		2,210,000	2,360,000	△ 150,000
委託費支出	※19	4,910,000	4,100,000	810,000
渉外費支出		30,000	30,000	0
旅費交通費支出	※20	430,000	280,000	150,000
通信運搬費支出		2,390,000	2,132,000	258,000
消耗品費支出		1,200,000	1,090,000	110,000
印刷製本費支出		130,000	86,000	44,000
慶弔費支出		50,000	50,000	0
光熱水料費支出		730,000	660,000	70,000
賃借料支出	※21	4,957,000	4,580,000	377,000
保険料支出		8,000	8,000	0
諸謝金支出		50,000	50,000	0
租税公課支出	※22	570,000	570,000	0
負担金支出	※23	150,000	150,000	0
修繕費支出		50,000	50,000	0
選挙費用支出		220,000	2,670,000	△ 2,450,000
資格喪失者会費支出		1,000,000	1,000,000	0
雑支出		1,280,000	1,264,000	16,000
事業活動支出合計(I b)		127,127,020	126,577,400	549,620
事業活動収支差額(I a)-(I b)		3,945,580	1,841,400	2,104,180

科 目	備考	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	平成26年度 予算額 (H. 26. 4. 1～ H. 27. 3. 31)	差異
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入		1,520,000	4,470,000	△ 2,950,000
選挙積立取崩収入		220,000	2,670,000	△ 2,450,000
退職給付引当資産取崩収入		300,000	300,000	0
災害看護支援資産取崩収入		1,000,000	1,500,000	△ 500,000
②その他投資活動収入		0	105,000	△ 105,000
長期前払費用振替収入（事務所更新料）		0	105,000	△ 105,000
投資活動収入合計（Ⅱa）		1,520,000	4,575,000	△ 3,055,000
2. 投資活動支出				0
①特定財産取得支出		2,800,000	3,100,000	△ 300,000
選挙積立預金支出		1,500,000	1,500,000	0
退職給付引当資産取得支出		800,000	600,000	200,000
災害看護支援資産取得支出		500,000	1,000,000	△ 500,000
②固定資産取得支出		100,000	100,000	0
什器備品購入支出		100,000	100,000	0
③その他投資活動支出		105,000	0	105,000
長期前払費用取得支出（事務所更新料）		105,000	0	105,000
投資活動支出合計（Ⅱb）		3,005,000	3,200,000	△ 195,000
投資活動収支差額（Ⅱa）-（Ⅱb）		△ 1,485,000	1,375,000	△ 2,860,000
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計（Ⅲa）		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計（Ⅲb）		0	0	0
財務活動収支差額（Ⅲa）-（Ⅲb）		0	0	0
Ⅳ 予備費支出				
		3,000,000	3,000,000	0
当期収支差額		△ 539,420	216,400	△ 755,820
前期繰越収支差額		56,145,690	55,929,290	216,400
次期繰越収支差額		55,606,270	56,145,690	△ 539,420

- ※1 平成27年4月1日時点での会員数を8,100名、新入会者・再入会者840名、資格喪失者400名と見積もり、合計請求人数を8,540名として計上
- ※2 ㈱日本看護協会出版会2口、㈱医学書院・㈱南江堂・㈱へるす出版・ヌーヴェルヒロカワ各1口。会費1口50,000円。
- ※3 日本看護科学会誌の完全電子化およびフリーアクセス化。
- ※4 JJNSセミナー受講料（130万）、JANSセミナー受講料（100万×3回）での見積り。
- ※5 学部生の参加費を4,000円とした。
- ※6 日本看護科学会誌（電子ジャーナル）の組版、電子ジャーナル対応経費、編集関連経費、学術集会講演集定期購読等販売用印刷製本費。電子化により発送費はなし。
- ※7 JJNS（Online Journal）の編集費、オンライン投稿利用料、編集事務費、英文誌編集長謝金（旅費交通費を含め年間200万円）
- ※8 編集委員・査読者支援の教育プログラム（セミナー、交流集会）を含む。
- ※9 英文誌編集委員会企画セミナー、若手研究者支援事業に関わる経費支出を含む
- ※10 看護学学術用語の維持管理システム（定期的見直し・更新あり）の運用を含む。
- ※11 世界看護科学学会（WANS）事務局業務、第4回学術集会（Hannover）サポートを含む。
- ※12 2年間の時限的委員会につき、事業完了。
- ※13 新設の常置委員会として設置
- ※14 災害看護支援事業への寄付金を活用し、助成および広報活動を行う。
- ※15 JANSセミナーの一部外注化を予定。
- ※16 正職員3名、パート職員5名（週1日～3日勤務）の給与・賞与を含む。総務担当正職員1名の増員を予定。
- ※17 社会保険料の増額分を反映。
- ※18 定例理事会6回（5月、6月、9月、10月、12月、2月）、社員総会2回（6月、12月）民間会議場使用、学会総会1回（12月）学術集会会議場使用。
- ※19 会計顧問料、公認会計士監査報酬、事務所警備委託費、封入委託費、会員管理システム利用料（学術集会参加登録システム・行事管理システムを含む）、JANSホームページ年間維持更新管理料、ホームページ英訳費用、Web会議システム。
- ※20 事務所職員の出張に伴う交通費（5名分）。通勤費は「通勤手当」費目にて別途計上。
- ※21 事務所賃借料、カラー印刷機リース料、紙折り機リース料、レーザープリンタ複合機リース料。
- ※22 収益事業（学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入）に関わる法人税および法人事業税は0円、法人都民税約7万円（均等割分のみ）。消費税課税売上高（学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など）に係る消費税（簡易課税方式）。
- ※23 日本看護系学会協議会8万円、看護系学会等社会保険連合7万円

平成27年度 収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

公益社団法人 日本看護科学学会

科目	公益目的事業						収益事業等			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売	連携事業	計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取会費											
正会員受取会費					25,620,000	25,620,000				59,780,000	85,400,000
賛助会員受取会費					300,000	300,000					300,000
事業収益											
学会誌収益(講演集含む)		340,000				340,000					340,000
学術集会参加費			31,550,000			31,550,000					31,550,000
広告販売収入							7,388,600		7,388,600		7,388,600
寄付金・助成金	500,000		550,000			1,050,000					1,050,000
雑収益											
受取利息										4,000	4,000
著作権料										100,000	100,000
懇親会収入										640,000	640,000
セミナー収益	3,000,000	1,300,000				4,300,000					4,300,000
その他の雑収入											
経常収益計	3,500,000	1,640,000	32,100,000		25,920,000	63,160,000	7,388,600		7,388,600	60,524,000	131,072,600
①事業費											
学会誌発行費		18,270,000				18,270,000					18,270,000
受賞論文表彰費		180,000				180,000					180,000
災害看護支援助成金	1,000,000					1,000,000					1,000,000
会場費	904,000	715,000	17,832,863	180,000		19,631,863	317,137		317,137		19,949,000
会議費	452,000	180,000	1,924,279	45,000		2,601,279	34,221		34,221		2,635,500
旅費交通費	3,555,821	1,185,686	2,935,854	273,867		7,951,228	54,092	4,406	58,498		8,009,726
消耗品費	350,546	134,590	622,714	40,792		1,148,642	16,322	12,295	28,617		1,177,259
通信運搬費	564,214	278,350	2,760,792	141,495		3,744,851	59,549	24,488	84,037		3,828,888
印刷製本費	234,434	120,789	7,549,096	101,169		8,005,488	134,821	1,332	136,153		8,141,641
委託費	3,262,861	1,137,490	7,447,054	144,159		11,991,564	29,066	50,307	79,373		12,070,937
人件費(学術集会・委員会)	160,000	150,000	671,066	40,000		1,021,066	11,934		11,934		1,033,000
諸謝金	450,000	680,000	1,470,000	280,000		2,880,000					2,880,000
雑費	330,583	109,230	1,672,369	41,512		2,153,694	35,338	13,115	48,453		2,202,147
租税公課			332,420			332,420	223,873		223,873		556,293
通勤手当	413,502	182,582	191,348	19,786		807,218	13,024	22,541	35,565		842,783
退職給付費用	152,883	67,506	70,747	7,315		298,451	4,815	8,334	13,149		311,600
福利厚生費	453,912	200,425	210,048	21,720		886,105	14,296	24,744	39,040		925,145
光熱水料費	137,207	60,584	63,493	6,565		267,849	4,321	7,480	11,801		279,650
賃借料	931,695	411,390	431,142	44,581		1,818,808	29,345	50,789	80,134		1,898,942
修繕費	9,397	4,150	4,349	450		18,346	296	512	808		19,154
火災保険料	1,504	664	696	72		2,936	47	82	129		3,065
減価償却費					26,836	26,836	433	749	1,182		28,018
給料手当	3,680,524	1,625,137	1,703,162	176,112		7,184,935	115,922	200,634	316,556		7,501,491

科目	公益目的事業						収益事業等			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売	連携事業	計		
②管理費											
懇親会費										1,000,000	1,000,000
学会総会費										300,000	300,000
社員総会費										3,260,000	3,260,000
理事会費										2,210,000	2,210,000
会場費											
会議費										55,000	55,000
旅費交通費										945,274	945,274
消耗品費										740,301	740,301
通信運搬費										1,499,432	1,499,432
印刷製本費										80,199	80,199
委託費										3,029,063	3,029,063
人件費（委員会）										300,000	300,000
諸謝金										50,000	50,000
雑費										789,653	789,653
租税公課										13,707	13,707
通勤手当										1,357,217	1,357,217
退職給付費用										501,800	501,800
福利厚生費										1,489,855	1,489,855
光熱水料費										450,350	450,350
賃借料										3,058,058	3,058,058
修繕費										30,846	30,846
火災保険料										4,935	4,935
減価償却費										45,120	45,120
渉外費										80,000	80,000
慶弔費										50,000	50,000
支払負担金										150,000	150,000
支払寄付金											
給料手当										11,478,509	11,478,509
經常費用計	17,045,083	25,693,573	47,893,492	1,564,595	26,836	92,223,579	1,098,852	421,808	1,520,660	32,969,319	126,713,558
当期經常増減額	-13,545,083	-24,053,573	-15,793,492	-1,564,595	25,893,164	-29,063,579	6,289,748	-421,808	5,867,940	27,554,681	4,359,042
2. 經常外増減の部											
(1) 經常外収益											
經常外収益計											
(2) 經常外費用											
經常外費用計											
当期經常外増減額											
他会計振替額					5,903,288	5,903,288	-5,903,288	0	-5,903,288		
税引前当期一般正味財産増減額	-13,545,083	-24,053,573	-15,793,492	-1,564,595	31,796,452	-23,160,291	386,460	-421,808	-35,348	27,554,681	4,359,042
法人税、住民税及び事業税							70,000		70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	-13,545,083	-24,053,573	-15,793,492	-1,564,595	31,796,452	-23,160,291	316,460	-421,808	-105,348	27,554,681	4,289,042

注1 従来形式の収支予算書で表示されている各委員会費支出、学術集会費支出は、事業の目的別に区分をし、各費用科目に予算を計上している。
 注2 従来形式の収支予算書の事業費、管理費は科目ごとに一定の配賦割合（面積割合や従事割合など）に基づき、本収支予算書の事業費、管理費に配賦されている。
 注3 従来形式の収支予算書に表示されている「退職給付支出」、「資格喪失者会費支出（貸倒損失）」、「投資活動収支」、「予備費」は本予算書には算入しない。
 注4 従来形式の収支予算書に表示されていない「減価償却費」、「退職給付費用（要積立額）」を本予算書に計上している。

名誉会員について

名誉会員についての定款上の規程

第 12 条 名誉会員は、看護学の発展に多大の寄与をした者の中から、理事会及び社員総会の承認を得たものとする。

2 名誉会員は、社員総会に出席し意見を述べることができる。

3 第 1 項の承認について、理事長は、学会総会に報告しなければならない。

第 14 条 会員は、社員総会で定める会費を納めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、名誉会員は、会費の納入を要しない。

名誉会員推薦についての理事会申し合わせ事項

1) 「看護学の発展に多大の寄与をした」ことの解釈・・・次のいずれかに該当すること。

① JANS の学術集会会長、国際学術集会会長を務めた。

② JANS の理事長、もしくは理事を通算 3 期以上務めた。

③ ①、②に相当の働きをしたと理事会が認めた。

④ その他・・・看護学の発展に格段の貢献をしたもの。

2) 本人の同意があること

平成 26 年 6 月社員総会で名誉会員に承認された会員 （了承を得て履歴等の情報を記載しております）

	中西 睦子 氏
略 歴	掲載省略
会 員 歴	1981 年 7 月 25 日～2014 年 3 月 31 日 （通算 33 年）
学術集会会長歴	第 17 回日本看護科学学会学術集会会長（1997 年）
役 員 代 議 員 歴	理 事 長 1999 年～2001 年 理 事 1990 年～1992 年、1996 年～1998 年 監 事 2005 年～2007 年、2007 年～2011 年 評 議 員 1987 年～1989 年、1990 年～1992 年、1996 年～1998 年、 1999 年～2001 年、2005 年～2007 年 代 議 員 2007 年～2011 年

第 37 回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告について

- ・ 第 37 回（平成 29 年度）日本看護科学学会学術集会会長

吉沢 豊予子（東北大学）